
付 録

1 京都府下15市・与謝2町の指標

(単位=km²、世帯、人)

区分 府市町	面積 (26.10.1)	推計人口及び世帯数(26. 10. 1)			
		世帯数	総数		
				男	女
京 都 府	4,612.20	1,145,817	2,615,514	1,252,501	1,363,013
京 都 市	827.83	700,124	1,474,484	700,014	774,470
福 知 山 市	552.54	32,115	79,439	39,313	40,126
舞 鶴 市	342.10	34,871	84,939	42,230	42,709
綾 部 市	347.10	13,805	34,241	16,360	17,881
宇 治 市	67.54	73,335	186,193	89,824	96,369
亀 岡 市	224.80	33,986	90,228	43,707	46,521
城 陽 市	32.71	29,905	77,441	37,255	40,186
向 日 市	7.72	21,195	53,246	25,408	27,838
長 岡 京 市	19.17	32,128	79,743	38,662	41,081
八 幡 市	24.35	29,170	73,155	35,520	37,635
京 田 辺 市	42.92	29,277	70,269	34,490	35,779
京 丹 後 市	501.46	20,560	55,933	26,746	29,187
南 丹 市	616.40	12,836	33,750	16,401	17,349
木 津 川 市	85.13	25,947	71,755	34,348	37,407
宮 津 市	172.73	7,824	18,760	8,891	9,869
伊 根 町	61.95	890	2,183	1,032	1,151
与 謝 野 町	108.38	8,194	22,152	10,507	11,645

国土交通省 推計人口
国土交通地理院

1 京都府下15市・与謝2町の指標(つづき)

(単位=世帯、人)

区分 府市町	国勢調査人口(27.10.1)				年齢3区分別人口(27.10.1)		
	世帯数	総数			年少人口 (0~14歳)	生産年齢人口 (15~64歳)	老年人口 (65歳以上)
			男	女			
京 都 府	1,152,902	2,610,353	1,248,972	1,361,381	313,866	1,539,540	703,419
京 都 市	705,874	1,475,183	699,748	775,435	162,141	886,422	381,132
福 知 山 市	32,170	78,935	39,156	39,779	10,917	44,673	22,787
舞 鶴 市	34,709	83,990	41,694	42,296	11,276	46,768	25,428
綾 部 市	13,766	33,821	16,197	17,624	3,910	17,349	12,448
宇 治 市	73,317	184,678	89,014	95,664	24,236	107,970	49,549
亀 岡 市	33,915	89,479	43,267	46,212	11,845	53,179	23,457
城 陽 市	29,884	76,869	36,952	39,917	9,311	43,399	23,922
向 日 市	21,356	53,380	25,387	27,993	7,429	31,453	14,320
長 岡 京 市	32,491	80,090	38,789	41,301	11,242	47,839	20,546
八 幡 市	29,259	72,664	35,212	37,452	9,485	42,516	20,507
京 田 辺 市	29,693	70,835	34,728	36,107	10,572	43,750	15,943
京 丹 後 市	20,469	55,054	26,353	28,701	6,700	28,907	19,421
南 丹 市	12,783	33,145	16,057	17,088	3,551	18,240	10,957
木 津 川 市	26,656	72,840	34,805	38,035	12,532	43,272	16,648
宮 津 市	7,738	18,426	8,726	9,700	1,870	9,186	7,362
伊 根 町	873	2,110	1,006	1,104	162	971	977
与 謝 野 町	8,140	21,834	10,357	11,477	2,688	11,610	7,498

国勢調査

(注)年齢3区分は年齢不詳を除く。

(単位=世帯、人、%)

区分 府市町	事業所数(26.7.1)			農業(27.2.1)		
	総数	第一次産業	第二次産業	第三次産業	農家数 (販売農家)	世帯員数 (販売農家)
京都府	121,895	0.26	19.42	80.32	17,485	60,790
京都市	75,282	0.10	16.91	82.99	2,065	7,761
福知山市	4,178	0.60	18.45	80.95	2,062	6,338
舞鶴市	3,945	0.51	15.87	83.62	714	2,425
綾部市	1,659	1.33	22.42	76.25	1,278	3,856
宇治市	5,910	0.10	20.42	79.48	169	660
亀岡市	3,224	0.74	22.89	76.36	1,807	6,309
城陽市	2,601	0.19	19.18	80.62	290	1,162
向日市	1,886	0.11	16.81	83.09	177	664
長岡京市	2,762	0.04	14.74	85.23	215	881
八幡市	2,027	0.25	18.89	80.86	311	1,231
京田辺市	2,090	0.19	15.79	84.02	557	2,109
京丹後市	4,511	0.82	41.43	57.75	1,940	6,914
南丹市	1,585	1.51	25.43	73.06	1,883	6,421
木津川市	1,997	0.25	17.93	81.82	788	2,784
宮津市	1,394	0.72	18.15	81.13	387	1,237
伊根町	155	2.58	25.16	72.26	115	377
与謝野町	1,736	0.46	50.86	48.68	341	1,193

平成26年経済センサス-基礎調査

2015年農林業センサス

(注)総数には、事業内容等不詳を含む。

1 京都府下15市・与謝2町の指標(つづき)

(単位:ha)

府市町	農 業 (27.2.1)			
	経 営 耕 地 面 積 (販 売 農 家)			
	総面積	田	畑	樹園地
京 都 府	1,757,439	1,423,619	181,962	151,858
京 都 市	175,353	131,995	34,102	9,256
福 知 山 市	183,511	157,476	19,772	6,263
舞 鶴 市	51,219	42,023	7,348	1,848
綾 部 市	139,311	124,789	9,823	4,699
宇 治 市	17,782	12,355	1,739	3,688
亀 岡 市	164,246	151,417	11,163	1,666
城 陽 市	27,691	16,427	4,625	6,639
向 日 市	13,002	8,530	949	3,523
長 岡 京 市	16,888	8,298	3,306	5,284
八 幡 市	33,259	25,668	5,284	2,307
京 田 辺 市	48,234	40,881	5,431	1,922
京 丹 後 市	284,003	244,537	32,021	7,445
南 丹 市	157,259	146,692	8,742	1,825
木 津 川 市	74,570	46,614	13,022	14,934
宮 津 市	35,112	30,758	3,146	1,208
伊 根 町	11,585	10,990	570	25
与 謝 野 町	64,616	62,754	1,797	65

2015年農林業センサス

(注)単位未満四捨五入のため、総面積と各項目の合計が一致しない場合がある。

(単位:人、万円)

府市町	工業(26.12.31、4人以上)			商業(卸売・小売業) (26.7.1)		
	事業所数	従業者数	製造品 出荷額等	事業所数	従業者数	年間商品 販売額
京 都 府	4,401	136,210	481,515,454	22,139	180,114	5,972,895
京 都 市	2,296	62,501	210,924,749	14,037	120,754	4,389,249
福 知 山 市	151	7,630	28,897,106	821	5,922	188,601
舞 鶴 市	104	3,138	14,313,004	801	5,012	132,922
綾 部 市	97	4,786	11,690,222	322	2,002	55,131
宇 治 市	288	9,873	49,591,983	981	8,730	227,054
亀 岡 市	155	4,577	10,723,420	575	4,609	87,700
城 陽 市	121	4,130	8,936,675	450	3,444	70,165
向 日 市	47	1,317	3,351,644	299	2,423	71,412
長 岡 京 市	87	4,933	28,862,950	408	3,147	72,477
八 幡 市	113	4,023	12,890,652	391	3,698	169,993
京 田 辺 市	81	3,979	18,762,153	278	2,784	59,412
京 丹 後 市	183	4,086	5,640,429	696	3,300	67,633
南 丹 市	79	2,782	17,108,137	271	1,267	28,641
木 津 川 市	59	1,079	2,949,586	379	3,152	62,986
宮 津 市	23	420	1,118,977	313	1,631	27,865
伊 根 町	2	22	X	31	100	727
与 謝 野 町	77	1,190	2,333,377	272	1,274	29,602

工業統計調査

商業統計調査

1 京都府下15市・与謝2町の指標(つづき)

(単位=人)

府市町	幼稚園(26.5.1)		小学校(26.5.1)		中学校(26.5.1)	
	園数	園児数	学校数	児童数	学校数	生徒数
京 都 府	226	27,934	413	132,437	201	71,783
京 都 市	122	15,273	184	68,045	102	39,039
福 知 山 市	8	433	25	4,402	10	2,396
舞 鶴 市	14	1,343	18	4,693	7	2,524
綾 部 市	3	44	10	1,716	6	1,002
宇 治 市	13	2,189	22	10,623	11	5,601
亀 岡 市	5	867	18	4,949	8	2,596
城 陽 市	7	997	10	3,879	5	2,031
向 日 市	3	668	7	3,378	3	1,477
長 岡 京 市	5	1,384	10	4,532	4	2,089
八 幡 市	9	1,268	8	3,815	4	1,744
京 田 辺 市	10	945	9	4,353	4	2,108
京 丹 後 市	4	176	20	2,943	7	1,812
南 丹 市	3	261	17	1,497	5	899
木 津 川 市	4	600	14	5,471	5	2,092
宮 津 市	4	103	7	847	4	366
伊 根 町	-	-	2	60	1	37
与 謝 野 町	3	95	9	1,170	3	832

学校基本調査

(単位=人)

府市町	幼稚園(27.5.1)		小学校(27.5.1)		中学校(27.5.1)	
	園数	園児数	学校数	児童数	学校数	生徒数
京 都 府	220	26,924	404	131,247	202	70,853
京 都 市	119	14,835	184	67,438	101	37,834
福 知 山 市	5	528	23	4,319	11	2,333
舞 鶴 市	14	1,315	18	4,652	7	2,461
綾 部 市	3	42	10	1,665	6	956
宇 治 市	13	2,088	22	10,493	11	5,530
亀 岡 市	5	832	18	4,891	8	2,554
城 陽 市	7	893	10	3,834	5	1,968
向 日 市	3	647	7	3,441	3	1,474
長 岡 京 市	5	1,379	10	4,530	5	2,790
八 幡 市	7	922	8	3,783	4	1,732
京 田 辺 市	10	976	9	4,361	4	2,226
京 丹 後 市	6	185	20	2,839	6	1,727
南 丹 市	3	273	11	1,449	6	893
木 津 川 市	4	554	14	5,659	5	2,193
宮 津 市	4	111	6	820	4	343
伊 根 町	-	-	2	57	1	40
与 謝 野 町	3	98	9	1,130	3	788

学校基本調査

1 京都府下15市・与謝2町の指標(つづき)

区分 府市町	財 政(26年度)				
	普通会計 決算額(歳入)	普通会計 決算額(歳出)	標準財 政規模	財政力指数 (3ヶ年平均)	経常収支 比 率
京 都 府	百万円	百万円	百万円		%
京 都 市	726,717	717,083	348,859	0.77	99.8
福 知 山 市	44,548	42,719	23,734	0.54	92.7
舞 鶴 市	37,956	37,635	19,555	0.73	96.4
綾 部 市	18,553	18,407	9,462	0.47	90.2
宇 治 市	60,726	60,275	34,298	0.75	93.7
亀 岡 市	36,502	35,968	18,307	0.58	97.9
城 陽 市	25,007	24,948	15,042	0.62	99.6
向 日 市	18,730	18,274	10,678	0.70	97.6
長 岡 京 市	28,361	27,438	15,856	0.83	93.7
八 幡 市	28,123	27,325	14,365	0.69	95.7
京 田 辺 市	24,992	24,360	13,875	0.76	95.4
京 丹 後 市	39,124	37,616	20,990	0.31	87.0
南 丹 市	25,641	24,609	14,437	0.34	91.9
木 津 川 市	25,960	25,304	16,292	0.65	96.6
宮 津 市	11,213	11,077	6,253	0.41	97.3
伊 根 町	3,760	3,605	1,565	0.11	88.4
与 謝 野 町	11,711	11,460	7,637	0.30	90.7

府自治振興課(市町村決算統計資料)

府市町	区分	財 政(27年度)				
		普通会計 決算額(歳入)	普通会計 決算額(歳出)	標準財 政規模	財政力指数 (3ヶ年平均)	經常収支 比 率
京 都 府		百万円	百万円	百万円		%
京 都 市		732,272	727,054	350,679	0.79	99.0
福 知 山 市		43,997	43,005	23,991	0.54	93.5
舞 鶴 市		35,248	34,825	19,591	0.71	93.5
綾 部 市		16,795	16,752	9,649	0.48	87.7
宇 治 市		60,686	60,284	34,856	0.75	94.8
亀 岡 市		35,207	34,753	18,836	0.58	96.5
城 陽 市		26,695	26,604	14,994	0.62	97.0
向 日 市		18,055	17,238	10,916	0.71	94.0
長 岡 京 市		30,100	29,030	16,148	0.83	86.8
八 幡 市		27,613	26,998	14,587	0.70	94.7
京 田 辺 市		24,943	23,982	14,196	0.77	92.4
京 丹 後 市		35,784	34,363	20,867	0.31	87.2
南 丹 市		24,539	23,764	14,409	0.34	90.8
木 津 川 市		30,576	29,974	16,641	0.65	96.1
宮 津 市		11,362	11,265	6,306	0.41	96.0
伊 根 町		3,510	3,323	1,664	0.11	83.8
与 謝 野 町		12,725	12,461	7,761	0.30	90.1

府自治振興課(市町村決算統計資料)

2 市政主要年譜

年 次	主 要 事 項
昭和 29 年 6 月 (1954)	宮津市制施行 (宮津町・栗田村・吉津村・府中村・日置村・世屋村・養老村・日ヶ谷村の合併)
6 月	国民健康保険を全域に実施
7 月	初代市長に徳田富治氏就任
8 月	市制施行祝賀式典
8 月	市章を制定
8 月	消防団結成
9 月	水産課を設置
昭和 30 年 1 月 (1955)	字銀丘・字鏡ヶ浦を新設
3 月	宮津中学校々舎改築完成
3 月	喜多簡易水道完成
4 月	国保直営日置診療所開設
4 月	府中小学校々舎改築完成
6 月	若狭湾国定公園の指定
7 月	ごみ焼却場完成
12 月	宮村簡易水道完成
昭和 31 年 2 月 (1956)	財政再建団体の指定 (昭和 35 年まで)
4 月	農業共済組合の合併 (9 組合)
5 月	機構改革による課の統合
6 月	森林組合の合併 (9 組合)
6 月	失業対策事業を開始
8 月	外垣簡易水道完成
9 月	由良村を宮津市に編入
10 月	財産区管理会を設置
11 月	養老簡易水道完成
昭和 32 年 3 月 (1957)	今福簡易水道完成
4 月	国鉄宮守線調査線に決定
7 月	牧地区 (日ヶ谷) の人家なくなる
10 月	宮津保育所改築完成
昭和 33 年 2 月 (1958)	難波野簡易水道完成
3 月	杉末簡易水道完成
4 月	宮津おどり国際芸術祭に参加
5 月	消防本部を設置
6 月	養老小学校々舎改築完成
7 月	市長に矢野二郎氏就任

年 次	主 要 事 項
昭和 33 年 12 月 (1958) 12 月	中野・松尾簡易水道完成 宮津市建設計画を策定
昭和 34 年 3 月 (1959) 4 月 4 月 6 月 6 月 9 月 9 月 11 月	都市計画道路網の決定 木子地区に大火(16 世帯被災) 宮津・天橋立・由良温泉を開発 市歌を制定 火葬場完成 日置簡易水道完成 台風 15 号(伊勢湾台風)で被害 宮守線建設線に編入決定
昭和 35 年 5 月 (1960) 8 月 12 月	天橋立小天橋の電動化完成 宮津小学校鉄筋北校舎改築完成 国分・溝尻簡易水道完成
昭和 36 年 1 月 (1961) 5 月 5 月 6 月 12 月	宮津電報電話局移転新庁舎完成 基本財産として五万騎山国有林を買収 宮津小学校鉄筋本館改築完成 宮津電報電話局自動化電話に切り替え 浅谷地区の人家なくなる
昭和 37 年 1 月 (1962) 1 月 3 月 4 月 4 月 6 月 7 月 9 月 11 月	里波見簡易水道完成 養老小学校波見分校々舎改築完成 宮津中学校日置分校々舎改築完成 天皇・皇后両陛下ご来市 府中保育所改築完成 市役所新庁舎完成 市長に矢野二郎氏再選 市民課を設置 黒崎灯台完成
昭和 38 年 1 月 (1963) 2 月 2 月 6 月 9 月 10 月 10 月 10 月	下世屋簡易水道完成 豪雪で北部地区被害 杉末会館完成 天橋立ユース・ホテル開設 吉津地区上水道完成 日本海沿岸直通急行列車宮津線に運行 栗田半島一周道路開通 養老小学校田原分校々舎改築完成

年 次	主 要 事 項
昭和 39 年 3 月 (1964) 3 月	栗田畜養場完成
4 月	東野地区の人家なくなる
5 月	指定金融機関を設置
5 月	事務改善による課の統廃合
5 月	吉津保育所改築完成
5 月	世屋下小学校畑分校々舎改築完成
6 月	市制施行 10 周年記念式典
6 月	初の名誉市民に塩田廣重・白杉嘉明三氏を顕彰
8 月	滝馬浄水場完成
8 月	西谷地区の人家なくなる
9 月	国際観光ルートに宮津市指定
11 月	衛生プラント完成
11 月	藪田簡易水道完成
12 月	丹後農産物流通センター完成
昭和 40 年 1 月 (1965) 1 月	府中小学校体育館改築完成
2 月	国民健康保険、全員 7 割給付始まる
2 月	NHK、UHF テレビジョン放送開始
5 月	近畿圏整備法による都市開発区域及び保全区域の指定
9 月	東谷地区の人家なくなる
昭和 41 年 2 月 (1966) 3 月	田井簡易水道完成
3 月	公益質屋事業を閉鎖
3 月	宮守線建設工事起工
3 月	世屋上小学校駒倉分校廃校
4 月	島崎児童館開設
4 月	計算事務の電計委託開始
6 月	奈具海岸道路改良工事完成
7 月	市長に矢野二郎氏三選
10 月	栗田簡易水道拡張改良工事完成
11 月	養護老人ホーム青嵐荘開所
12 月	滝上林道完成
昭和 42 年 3 月 (1967) 3 月	国名賀団地完成
4 月	中波見簡易水道完成
4 月	消防署を設置
5 月	養老保育所開設
6 月	消防署庁舎完成

年 次	主 要 事 項
昭和 42 年 11 月 (1967) 12 月	天橋立大天橋改築完成 宮津会館、中央公民館完成
昭和 43 年 3 月 (1968) 3 月 4 月 4 月 4 月 6 月 6 月 10 月 12 月	百合が丘団地完成 吉津小学校鉄筋校舎改築完成 水道事業に公営企業法の適用 交通災害共済制度を発足 機業技術研修所開設(須津) 農業協同組合を合併(10 組合) 日ヶ谷簡易水道完成 農業共済事業を市に移管 消防署救急業務を開始
昭和 44 年 3 月 (1969) 4 月 4 月 7 月 10 月 10 月	栗田小学校田井分校鉄筋校舎改築完成 上宮津保育所改築完成 成谷地区の人家なくなる 丹後縦貫林道建設工事起工 丹後地区広域市町村圏協議会発足 商業放送テレビジョン放送開始
昭和 45 年 2 月 (1970) 3 月 3 月 3 月 4 月 5 月 7 月 8 月 10 月 11 月	国道バイパス栗田トンネル完成 畑簡易水道完成 裁判所宮津支部新庁舎完成 段地区(養老)の人家なくなる 京都刑務所宮津支所廃止 天橋立ビューランド開所 市長に矢野二郎氏四選 宮津おどり万国博覧会に出演 滝馬浄水場拡張と吉津上水道統合 府立丹後郷土資料館開設
昭和 46 年 3 月 (1971) 3 月 3 月 3 月 3 月 3 月 3 月 4 月	由良幼稚園改築完成 丹後半島国鉄周遊指定地に指定 奥波見簡易水道完成 天神団地完成 由良小学校鉄筋校舎改築完成 刑務所跡地に厚生年金住宅完成 世界連邦宣言全国自治体協議会加入 日置保育所開設

年次	主要事項
昭和46年5月 (1971) 7月 8月 8月 9月 12月	宮津卸商業団地用地造成完成 市立図書館完成 京都府宮津総合庁舎完成 府立宮津労働セツルメント完成 宮守線普甲トンネル貫通 野外活動センター大江山ロッジ開設
昭和47年1月 (1972) 3月 3月 3月 3月 5月 7月 7月 9月 9月 10月	一日市民教室はじまる 宮津市振興計画を策定 上世屋簡易水道完成 世屋上小学校木子分校廃校 授産場事業を閉鎖 駒倉地区の人家なくなる 宮津小学校水泳プール開設 市政ニュース、テレビ放送開始 鳥が尾住宅団地造成工事第1期分完成 由良簡易水道完成 特急列車宮津線に運行
昭和48年1月 (1973) 3月 3月 3月 4月 4月 5月 6月 6月 6月 7月 7月 9月 11月 12月 12月	日ヶ谷小学校鉄筋校舎改築完成 島陰漁港海岸保全施設整備事業完成 第4次大島漁港整備事業完成 新大手橋完成 丹後地区土地開発公社発足 宮津商工会議所会館完成 機業技能訓練センター開設(養老) 日置中学校世屋上分校鉄筋校舎完成 竹材流通センター開設 京大の木子地球電磁気観測室設置 栗田漁港(中津)海岸保全施設整備事業着工 大江山林道完工 宮津ガスタービン発電所完成 栗田地区水道を上水道に統合 福祉センター開所 府立海洋センター建設地小田宿野
昭和49年4月 (1974) 6月	田原簡易水道完成 学童保育所開設

年次	主要事項
昭和49年6月 (1974)	市制施行20周年記念式典
6月	市の木「くろまつ」を制定
6月	宮津幼稚園増改築完成
6月	市長に矢野二郎氏五選
7月	市庁舎新館完成
7月	吉津小学校プール完成
8月	助役に上柳宏介氏再任、収入役に尾関久雄氏就任
11月	機構改革により課の統廃合
昭和50年3月 (1975)	老人福祉電話新設
4月	新公設市場移転開店
4月	みずほ保育園開園
4月	農協会館完成
5月	テレホンサービス開始(宮津22-1010番)
7月	上宮津浄水場完成
7月	国鉄宮守線福知山市までの延長決定
9月	北部不燃物処理場開設
10月	矢野市長中国訪問
昭和51年1月 (1976)	農林省京都食糧事務所宮津支所閉鎖
3月	宮津共同作業所開所
3月	栗田幼稚園改築完成
3月	機構改革による課の統廃合
4月	衛生プラント増設工事完成
4月	観光案内所開所
5月	ニュージーランド国ネルソン市と姉妹都市盟約締結
5月	印鑑証明事務の簡素化
6月	府立海洋センター開所
7月	国民宿舎丹後由良荘完成
7月	国道178号栗田バイパス完成
11月	宮津運動公園起工
12月	嶽地区の人家なくなる
12月	日置中学校体育館完成
昭和52年1~3月 (1977)	豪雪による被害
1月	松尾地区においてなだれ事故
3月	法務局養老出張所廃止
3月	波見分校養老小学校へ統合

年 次	主 要 事 項
昭和 52 年 4 月 (1977)	特別養護老人ホーム天橋園開園
5 月	宮津税務署改築完成
5 月	ネルソン市マクレナン市長夫妻一行来市
6 月	与謝伝染病隔離病舎移転完成
7 月	南部不燃物処理場搬入開始
7 月	上宮津小学校プール完成
9 月	米国フロリダ州デルレイビーチ市と姉妹都市盟約締結
10 月	宮津網野久美浜線道路問題協議会発足
11 月	府立与謝の海病院改築完成
昭和 53 年 2 月 (1978)	宮津中学校体育館改築完成
3 月	上宮津保育所増築完成
3 月	市議会議員定数 30 名を 26 名とする
4 月	宮津小学校南校舎改築起工
5 月	労働金庫移転新築完成
6 月	京都銀行宮津支店改築完成
6 月	市長に矢野二郎氏六選
7 月	柿の木古墳発掘調査
7 月	宮津カントリークラブゴルフ場オープン
7 月	異常干ばつによる被害、給水制限
7 月	栗田小学校々舎改築工事起工
9 月	助役に井上肇男氏就任、収入役に尾関久雄氏再任
9 月	養護老人ホーム青嵐荘増築完成
10 月	国鉄宮福線河守～福知山間工事線に決定
11 月	宮津バイパス工事着工
11 月	し尿くみ取り許可制を委託制に切り替え
11 月	大手川市営駐車場オープン
昭和 54 年 3 月 (1979)	日ヶ谷保育所移転新築完成
4 月	宮津郵便局改築完成
6 月	市制施行 25 周年記念式典
7 月	宮津保健所移転新築完成
8 月	宮津市民球場完成
9 月	宮津市民球場オープン
昭和 55 年 3 月 (1980)	栗田小学校々舎改築完成
4 月	たんぼぼ保育園開園
4 月	都市計画道路漁師波路線島崎～河原間開通

年次	主要事項
昭和55年4月 (1980)	宮津保育所改築完成
4月	宮津小学校南、中校舎改築完成
5月	養老診療所完成
5月	滝上児童遊園開園(モデル児童遊園)
5月	姉妹都市デルレイビーチ市へ市長夫妻ほか8名表敬訪問
6月	「奥丹後半島」を「丹後半島」と変更
7月	杉末総合開発事業着工
9月	冷夏と長雨による異常気象、農作物に被害
9月	井上助役退任、新助役に徳田敏夫氏就任
10月	宮津与謝消防組合設立
10月	宮津警察署新庁舎完成
11月	丹後縦貫林道開通
昭和56年1~3月 (1981)	豪雪による被害
2月	青少年海洋活動施設起工
2月	上宮津小学校屋内運動場完成
4月	世屋保育所開設
4月	宮津中学校新校舎完成
4月	宮津市国鉄宮津線利用拡大推進協議会設立
5月	養老漁業センター完成
7月	由良の里センター完成
7月	前尾繁三郎元衆議院議長逝去名誉市民に顕彰
8月	宮津市日中友好協会訪中団矢野市長以下22名訪中
9月	宮津エネルギー研究所宮津市対策会議設置
10月	宮津節歌碑建立
11月	京都府栽培漁業センター完成
11月	名誉市民前尾繁三郎氏追悼式
昭和57年2月 (1982)	橋立中学校々舎改築完成
2月	養老中学校屋内運動場完成
3月	デイ・サービスセンター「松寿園」完成
3月	府中保育所改築完成
3月	上宮津小学校々舎改築完成
3月	京都府立青少年海洋センター「マリーニピア」完成
4月	B&G宮津海洋センター完成
4月	八幡児童遊園完成
4月	第3次宮津市振興計画策定

年次	主要事項
昭和57年5月 (1982)	杉末第1次総合開発事業完成
6月	智恩寺と成相寺の両鉄湯船重要文化財に指定
6月	市長に矢野二郎氏七選
6月	市議会議員選挙
7月	世屋高原家族旅行村起工
9月	尾関収入役退任、新収入役に奥田善光氏就任
9月	宮福鉄道株式会社設立
10月	由良農林漁業体験実習館完成
10月	労働セツルメントを宮津労働会館として開設
10月	吉津小学校グラウンドに屋外照明施設完成
12月	漁師町沖埋立着工
12月	暁星幼稚園移転新築完成
昭和58年1月 (1983)	日置小学校屋内運動場完成
3月	宮福線起工
3月	府中小学校々舎改築完成
3月	都市計画道路漁師波路線完成
3月	吉津保育所移転新築完成
4月	新農業構造改善事業波見谷地区完成
5月	浩宮さまご来市
5月	成相山展望台完成
7月	前尾記念文庫完成
7月	地籍調査事業着手
8月	KBSラジオ増力開始(1KW)
10月	コンピューターによる住民情報システム導入
12月	須津バイパス開通
12月	大江山レストハウス完成
昭和59年1~3月 (1984)	豪雪による被害
3月	日置小学校々舎改築完成
4月	世屋農林漁業体験実習館完成
4月	宮津運動公園運動広場オープン
4月	世屋小学校屋内運動場完成
4月	宮津湾流域下水道事業着手
4月	京都国体準備室設置
6月	市制施行30周年記念式典
6月	市の花「みつばつつじ」を制定

年次	主要事項
昭和 59 年 7 月 (1984) 7 月	矢野二郎市長退任
8 月	徳田敏夫助役退任
8 月	市長選挙
8 月	新市長に徳田敏夫氏就任
9 月	新助役に久保民雄氏就任
10 月	平田寿郎教育長退任、新教育長に茂龍内匠氏就任
10 月	宮津市ふるさと産品開発委員会設立
11 月	国鉄宮津線問題対策協議会設立
11 月	国営栽培漁業センター若狭湾事業場宮津施設開所
昭和 60 年 1 月 (1985) 1 月	日置小学校々舎増改築工事完成
1 月	宮津湾（新浜沖）埋立工事着工
2 月	宮津市高齢者対策推進協議会設立
3 月	国鉄栗田、岩滝口駅無人化
4 月	機構改革による部制設置
4 月	世屋高原家族旅行村オープン
6 月	前市長矢野二郎氏を名誉市民に顕彰
6 月	北京都信用金庫本店が宮津警察署跡地に新築移転
7 月	栗田中学校屋内運動場完成
8 月	各界友好訪中団（徳田市長団長）中国訪問
8 月	宮津市行政改革推進委員会設置
10 月	大手橋架け替え工事完成
10 月	京都府立宮津ヨットハーバー着工
12 月	宮津市行政改革大綱策定
12 月	宮津市民体育館起工
12 月	日ヶ谷桁中橋完成
12 月	市議会議員定数 26 名を 23 名とする
12 月	奥田収入役辞職
昭和 61 年 1 月 (1986) 3 月	新収入役に角江一夫氏就任
4 月	半島振興法による半島振興地域の指定
4 月	国鉄宮津線第 3 次特定地方交通線に選定申請
4 月	京都国体花いっぱい運動スタート
4 月	丹後地区農業共済組合設立
5 月	ネルソン市と姉妹都市盟約締結 10 周年式典
5 月	関西電力宮津エネルギー研究所起工
6 月	市議会議員選挙

年次	主要事項
昭和61年7月 (1986)	京都縦貫自動車道建設促進同盟会発起人会
8月	市民グラウンド夜間照明設備完成
8月	ネルソン市ネイランドカレッジ親善訪問団来市
10月	保健センター起工
11月	市民体育館完成
11月	中ノ茶屋水道施設完成
11月	宮津ニュージーランド協会設立
11月	秦皇島市から友好訪問団来市
12月	市民実践活動センター設立
12月	大江山スキー場第2リフト完成
昭和62年1月 (1987)	養老地区新農構改善事業完成
2月	国鉄宮津線廃止承認
3月	獅子崎ライスセンター完成
3月	養老小学校々舎改築完成
3月	京都府立宮津ヨットハーバー完成
3月	日置上コミュニティー広場完成
3月	新宮簡易水道完成
4月	宮津市保健センター完成
5月	京都国体軟式野球大会リハーサル大会
7月	中国河北省秦皇島市と友好交流協議書調印
7月	国営農地開発事業(木子)起工
8月	宮津バイパス杉末工区着工
9月	デルレイビーチ市友好協会設立
9月	デルレイビーチ姉妹都市盟約10周年記念式典
9月	大手川ふれあい広場完成
10・11月	京都国体ヨット・卓球リハーサル大会
11月	ニュージーランドネルソン市マーロン市長来市
11月	名誉市民矢野二郎氏追悼式
11月	宮津幼稚園創立100周年記念式典
12月	大江山スキー場第1リフト改築完成
昭和63年1月 (1988)	宮福鉄道レール締結式
3月	栗田中学校々舎改築完成
3月	府中小学校々舎増改築完成
4月	栗田区民センター完成
4月	宮津線第3セクター方式で存続決定

年次	主要事項
昭和63年4月 (1988)	世屋家族旅行村テニスコート完成
5月	宮津市弓道場完成
6月	大気環境監視システム作動開始
6月	宮津会館改修開館
6月	上世屋上水道完成
6月	宮津湾流域下水道宮津湾浄化センター着工
7月	宮福鉄道開業
8月	市長に徳田敏夫氏再選
8月	第4次(友好交流協議書締結1周年記念)訪中団中国訪問
9月	助役に久保民雄氏再任
9・10月	京都国体ヨット・卓球・軟式野球競技開催
10月	今福不燃物処理場搬入開始
11月	中国河北省秦皇島市城郷緑化考察団来市
12月	市道新宮・奥山線開通
12月	栗田駐在所移転新築完成
12月	化学消防ポンプ自動車配備
12月	上宮津地区NTTオプトーク通信開通
昭和64年1月	1月7日天皇ご逝去 新元号は平成
平成元年3月 (1989)	日置保育所移転新築完成
4月	精神薄弱者通所授産施設みやづ作業所開所
5月	豪華クルーズ客船「おせあにつくぐれいす」宮津港入港
6月	市制施行35周年記念式典
6月	市民憲章を制定
6月	地区対抗駅伝競走大会を初めて開催
7月	国営農地木子第1団地営農進発式
8月	「宮福鉄道」から「北近畿タンゴ鉄道」へ社名変更
8月	宮津エネルギー研究所竣工
10月	宮津与謝広域シルバー人材センター設立
10月	「丹後リゾート構想」国の承認を受ける
10月	京都縦貫自動車道(綾部宮津道路)ルート決定
12月	宮津市代替バス運行開始(浜町一中の茶屋間)
平成2年1月 (1990)	1月25日リベリア船籍の木材貨物船「マリタイム・ガーデニア号」が丹後町経ケ岬沖で座礁。栗田、由良海岸にも油が漂着し、貨物船油流出事故対策本部を設置
3月	ヨットをイメージした新湊橋完成

年次	主要事項
平成2年 3月 (1990)	J R宮津線から北近畿タンゴ鉄道へ転換、開業式典
4月	金引きの滝「日本の滝100選」に
4月	宮津ターミナルセンター完成
4月	宮津中学校々舎改築完成
6月	市民憲章碑建立
6月	日中「長城杯」ゲートボール招待試合、2チーム渡中
7月	市議会議員選挙
7月	第1回ビーチバレー京都大会開催
7月	市議会議長に山下伊佐衛門氏、副議長に塚原毅氏就任
7月	天橋立ターミナルセンター完成、モニュメントは知恵の輪時計
7月	食品卸売センター完成
7月	姉妹都市ネルソン市へ中高校生訪問
8月	市史編さん本格着手
9月	市民憲章推進協議会設立
10月	市海洋つり場完成
10月	ニュージーランド建国150周年、ネルソン市ジャパンウィーク式典に女性23人が参加
平成3年 2月 (1991)	丹後地区広域市町村圏事務組合設立
3月	土地取引の届け出が市内の一部で規制強化
3月	北前船テーブルセンター完成
3月	細川氏築城の石垣検出 宮津城跡発掘調査
3月	第4次宮津市総合計画策定
3月	宮津町立宮津大手川高等女学校の記念碑建設
3月	宮津地方合同庁舎完成
3月	西宮津公園完成
4月	日ヶ谷地区基幹集落センター完成
4月	大手川・湊橋に夜間照明完成
4月	市の事務処理一部電算化稼働
5月	土曜閉庁開始 市の業務第2・4土曜日閉庁
5月	天橋立観光協会 宮津駅へ移転
5月	生活雑排水対策推進委員制度設立
5月	第1回アメリカジャパンウィークに宮津おどり振興会出演
5月	ネルソン市の女性 宮津祭女性みこしに参加
5月	ネルソン市から宮津体験訪問団来市
5月	デルレイビーチ市から森上博物館の理事長ほか来市

年 次	主 要 事 項
平成3年 6月 (1991) 6月	京都縦貫道路方向杭除幕 養老中新校舎完成
7月	由良ターミナルセンター完成 ヨット型
7月	人材育成基金事業 第1号の陶芸家島村佳さん渡米
9月	ペタンクで日本一 第4回全国健康福祉祭いわて大会で
10月	土地情報登録制度スタート
10月	丹後地区広域市町村圏事務組合のシンボルマーク決定
10月	ネルソン市誕生150年式典に市民訪問団派遣
10月	国際モス級ヨット世界選手権宮津大会開催
10月	丹後地区広域市町村圏事務組合ヨーロッパを視察
平成4年 1月 (1992) 2月	国道176号「宮津バイパス」宮津トンネル貫通 国道178号（里波見～長江間）で地すべり災害発生
3月	新清掃工場完成
3月	日置中学校改築により全小中学校舎改築整備完了
3月	「健康長寿のまちづくり基本計画」の策定
3月	須津工業用地譲渡
3月	養老保育所移転新築完成
3月	霧ヶ鼻古墳群で縦穴式、横穴式併存の石室を持つ古墳を確認
3月	リゾートホテル（田井地区）建設計画を府が自然公園法、森林法に基づき認可
3月	京都縦貫自動車道関連用地買収に着手
3月	岩滝口ターミナルセンター完成
3月	府中公園一部供用開始
3月	溝尻市道竣工
4月	企画部門に女性政策係新設など市機構改革
4月	資源ごみ回収活動報奨制度スタート
4月	ひとづくりふれあい事業で観光通訳、農業研修に2人を派遣
4月	中国河北省秦皇島市へゲートボール訪問団派遣
4月	国道178号（里波見地区）地すべり災害部に仮設道路開通
5月	ネルソン・ガールズカレッジ生徒、ホームステイ交流
5月	市自治連合協議会設立35周年記念式典
6月	智恵の輪提案制度スタート
6月	「国連・障害者の十年」最終記念事業、宮津・福祉ふれあいフェスティバル開催
7月	市長選挙で徳田敏夫氏三選

年次	主要事項
平成4年 7月	ニュージーランド・ネルソン市へ中高生の交流派遣
(1992) 8月	「市女性政策推進検討委員会」を設立
9月	日本最大の豪華客船「飛鳥」宮津港へ初入港
9月	新助役に橋本清鷹氏就任
9月	市指定ごみ袋制度導入
9月	八幡モデル児童遊園リニューアルオープン
10月	中国河北省秦皇島市へ友好都市締結5周年記念訪問
10月	第1回丹後・天橋立ツーデーマーチを開催
10月	浜町埋立地の一部について阪急電鉄(株)と売買契約及び基本協定締結
11月	学校週5日制に伴い「三世代ふれあい・いきいきフェスタ」等の交流行事開催
12月	不況対策に商工融資の特別措置
12月	新浜通りカラー舗装完成
12月	市公共下水道条例制定
平成5年 3月	獅子崎高津神社で銅鏡「内行花文鏡」発見
(1993) 3月	「みやづのうた」CD製作販売
3月	魚屋通りカラー舗装完成
3月	ねんりんピックプレ大会「みやづ天橋立マラソン交流大会」
3月	府道笠松公園線マイロード事業竣工
3月	宮津湾流域下水道市街地など一部地域で供用開始
4月	府中公園全面オープン
4月	安寿の里「もみじ公園」オープン
4月	栗田半島(獅子崎、獅子、矢原、田井地区)新設路線バス運行
4月	宮津湾流域下水道宮津湾浄化センター通水
4月	栗田ターミナルセンター完成
5月	京都縦貫自動車道綾部宮津道路起工
6月	市役所完全土曜閉庁導入
6月	市営住宅(東波路住宅団地)起工
7月	市政広報ビデオ等貸し出しスタート
7月	みやづふれあいフェスタ 93開催
7月	宮津-天橋立間鉄道電化・高速化事業起工
7月	北部総合センター起工
8月	冷夏により農家、観光、商工業打撃
8月	府北部4市3町を「北近畿地方拠点都市地域」に指定
9月	ネルソン市「ジャパニーズ・ガーデン」開園式に橋本助役団長ほか19人が訪問

年 次	主 要 事 項
平成5年 10月 (1993) 10月	粗大ごみ処理施設起工
10月	宮津市地域防災計画全面改訂
10月	ねんりんピック 93マラソン交流大会を開催
10月	北近畿観光立県推進地方会議(観光サミット)開催
平成6年 1月 (1994) 2月	収入役に角江一夫氏再任(3期目)
2月	国道176号「宮津バイパス」開通
3月	市道「幸寿中ヶ岡線」開通
3月	市営・府営住宅「東波路団地」完成
4月	デイサービスセンター“せんごく”、養老地区公民館竣工
4月	秦皇島市訪問団表敬訪問
4月	「安寿と厨子王モニュメント」竣工
4月	市制40周年オープニングイベント「新みやづ物語の創造」(浜町埋立地)
	・“オルケスタ・デ・ラ・ルス”コンサート
	・天橋立「炎の架け橋」
5月	クルーズ船「にっぽん丸」入港
5月	クルーズ船「おせあにつくぐれいす」入港
6月	市制40周年記念式典
	・名誉市民等功績者表彰、3姉妹・友好都市市長招待交流
	「歩ら輪ぐ宮津で“ピン”ネットワーク」シンボルモニュメント除幕
6月	・イメージキャラクター「いざなぎちゃん」「なみちゃん」発表
6月	デイサービスセンター“せんごく”運営スタート
6月	宮津市史「史料編第五巻」発行
6月	市勢要覧「海園都市みやづ」発行
6月	クルーズ船「おせあにつくぐれいす」入港
7月	市議会議員選挙
7月	市議会議長に松浦和一郎氏、副議長に斉藤末夫氏就任
7月	「大江山バンガロー村」開村
7月	市制40周年記念事業「わくわくどきどきマリンサーカス」開催
7月	「リフト付きタクシー」運行開始
7月	「子ども議会」開催
8月	上世屋で火災 3棟全焼
8月	第2回デニス・コナーズカップ「日本三景レース in 天橋立」開催
8月	市制40周年記念事業“宮津新浜・昔まち”を開催
8月	市制40周年記念事業、新能「洋上夢舞台」開催

年 次	主 要 事 項
平成6年 8月 (1994) 8月	友好都市中国秦皇島市から小中学生が来訪、市内中学生と交流
9月	クルーズ船「おせあにつくぐれいす」入港
9月	「全国ふるさと市町村圏シンポジウム 94 in 丹後」開催
9月	豪華クルーズ船「飛鳥」入港
9月	「みやづ都市緑化フェア」開催
10月	帆船「日本丸」寄港
11月	3本の鉄剣出土（中村地区古墳調査）
11月	「半島振興シンポジウム 94 in 丹後」開催
12月	「粗大ごみ処理施設」竣工
平成7年 1月 (1995) 1月	大江山スキー場ナイター設備稼働
1月	ごみの減量化と再利用へ「粗大ごみ処理施設」運転開始
1月	子どもと市長の「初夢会議」開催
1月	兵庫県南部地震（阪神大震災）発生 被災者の皆さんの生活を支援
2月	国道178号線地すべり災害個所の復旧道路が完成
2月	宮津城跡発掘調査で池の石垣出土
2月	「丹後地域医療シンポジウム」開催
3月	「歩ら輪ぐ宮津で“ピン”ネットワーク」市内散策コースの愛称『ぶらり歴史のみち』『ぶらり寺まちのみち』に決定
4月	市道「惣宮村線」全線供用開始
4月	地域高規格道路「鳥取豊岡宮津自動車道」野田川－宮津間が「整備区間」に指定
4月	「宮津市防災マップ」を市民配布
4月	「山中地区」に水道水供給開始
4月	国民健康保険加入者の「人間ドック」受診助成制度スタート
5月	「丹後地区ふるさと市町村圏計画」を策定
5月	第11次市指定文化財 2件を新たに指定（「大般若経」、「大日種子一尊板碑」）
6月	新教育長に横山光彦氏就任
6月	豪華客船「おせあにつくぐれいす」入港
7月	市議会議長に齊藤末夫氏、副議長に馬場孝行氏を選出
7月	市制40周年記念継続事業 天橋立「炎の架け橋」開催
7月	「日本三景碑」天橋立小天橋に建立
8月	国道178号「養老伊根バイパス」着工
8月	市制40周年記念継続事業「子供議会」開催

年次	主要事項
平成7年 8月 (1995)	消防・防災・休日医療の複合施設着工
9月	宮津・与謝1市4町の森林組合が「宮津地方森林組合」として合併
9月	フランス核実験に抗議し、市長、議長の連名で中止要請
10月	「平成9年度全国高等学校総合体育大会宮津市実行委員会」設立
10月	ネルソン市市民訪問団出発 「宮津ガーデン」完成を祝う
10月	第1回「宮津ふれあい朝市」開催
11月	「在宅介護支援センター」開所
11月	効率的な行政システムの構築へ市民の推進委員会を発足
11月	「KTR福知山―天橋立間」電化・高速化事業開業に向け試運転開始
12月	中町通地区土地区画整理事業が事業認可
12月	京都府指定文化財「三上家」市の取得を議決
平成8年 1月 (1996)	秋篠宮殿下、妃殿下、日本動物園水族館協会主催の研究会に出席のため来市
3月	KTR「福知山―天橋立」間（「京都―天橋立」「新大阪―天橋立」直通）電車運行開始
3月	「96半島振興シンポジウムイン丹後」開催
3月	府中小学校体育館改築完成
3月	第3セクター「(株)まちづくり推進機構」創立総会
3月	「宮津市史」史料編第一巻発行
4月	教育相談の窓口「こころのまど」開設
4月	災害時に備え「コミュニティ防災拠点施設」整備、防災資機材を備蓄
4月	UIターン情報誌「海園」を創刊
4月	「福祉タクシー利用券」を発行
5月	養老伊根バイパス「岩ヶ鼻トンネル」貫通
5月	「みやづし議会だより」創刊
6月	「休日応急診療所」開設
6月	「滝上児童公園」オープン
7月	徳田市長4選される
7月	市制40周年記念継続事業 天橋立「炎の架け橋」開催
7月	「大型ショッピングセンター」浜町で竣工
7月	天橋立「日本の渚・百選」に選定
7月	宮津市議会議員補欠選挙を執行
7月	食中毒（O-157）の被害阻止へ官民一体となり対応
7月	姉妹都市20周年、ネルソン市で記念モニュメントを除幕（中高校生17人が訪問）

年 次	主 要 事 項
平成8年 8月 (1996)	「威臨丸」入港
8月	市制40周年記念継続事業 “宮津新浜・昔まち”開催
8月	市制40周年記念継続事業 天橋立薪能「洋上夢舞台」開催
8月	市民提案による「みやづ満喫フェスタ'96」開催
8月	「あなたのまちに名球会がやってくる」開催
8月	新しい行政推進委員会が「行政リストラ提言」を市に提出
8月	「アスペンミュージックフェスティバル in 宮津」開催
8月	市制40周年記念継続事業「子供議会」開催
9月	市営住宅「東波路団地」完成
10月	「銅経筒」「大フケ湿原」を市文化財に指定
10月	あんしん介護の窓口「宮津市在宅介護支援センター」着工
11月	「東部不燃物処理場」着工
11月	宮津街道普甲峠「歴史の道百選」に選定
12月	「福祉のまちづくりモデル地区整備計画」により宮津駅に自動ドアなどを整備
平成9年 1月 (1997)	ロシア船籍タンカー重油流出事故に対応するため、宮津市N号流出油事故対策本部設置
2月	市立日置診療所スタート
3月	簡素で効率的な市役所活動を展開するため「宮津市行政リストラ大綱」策定
3月	養老小学校体育館竣工
3月	「府中ふれあい広場」オープン
4月	より親切で効果的な市政へ機構改革を実施
4月	宮津与謝消防組合新庁舎完成 業務開始
4月	宮津市在宅介護支援センター竣工 相談業務24時間対応開始
4月	地球環境保全へペットボトル、紙パック分別収集開始（ペットボトル圧縮減容機府北部で初めて導入）
4月	「宮津市史」史料編第二巻発行
5月	豪華客船「おせあにつくぐれいす」最後の寄港
5月	デルレイビーチ市市民訪問団派遣 記念モニュメントを除幕
5月	養老伊根バイパス 大島トンネル起工
5月	宮津市民憲章表彰制度を創設
5月	みやづ達人事典 発刊
6月	行政手続条例をスタート
6月	市道浜町線完成 供用開始

年 次	主 要 事 項
平成9年 6月 (1997)	宮津市行政リストラ大綱の具体化へ「アクションプログラム」策定
7月	駐車場「パーキングはままち」オープン
7月	大型ショッピングセンター「宮津シーサイドマート・ミップル」オープン
7月	市制40周年記念継続事業 天橋立「炎の架け橋」開催
8月	宮津市代替バス 上宮津バスの車両変更
8月	全国高等学校総合体育大会女子ソフトボール講義、ヨット競技開会
8月	市制40周年記念継続事業 “宮津新浜・昔まち” 開催
8月	市営大手川駐車場営業開始
8月	丹後リゾート公園を舞台に地球デザインスクール開校
9月	第7次中国秦皇市島市訪中団が秦皇島市を訪問
9月	知的障害者デイサービス事業開始
9月	獅子工場用地造成地完成
10月	宮津市学習の家 開設
10月	近畿自然歩道整備計画日本海沿岸ルート为天橋立を指定
10月	宮津市行政リストラアクションプログラム 押印廃止
11月	近畿府県合同防災訓練、京都府総合防災訓練、宮津市総合防災訓練を実施
11月	養老中学校テニスコート竣工
11月	同和教育推進地域事業委員会研究実践発表会 開催
11月	秦皇島市から友好都市締結10周年記念で「陶製の馬」寄贈される
12月	丹後リゾート公園着工
平成10年 1月 (1998)	「ふれあい&すこやかフィールド」着工
1月	宮津会館にスタンウェイ&サンズ社のピアノ購入
1月	新収入役に才本 進氏就任
1月	「男女共立かるた」採用の川柳決まる
2月	国道178号養老・伊根バイパス「大島トンネル」が貫通
3月	ごみ減量・リサイクル宮津市廃棄物減量化・再利用推進計画を策定
3月	近畿自然歩道路線決定。市内では7コース約60キロが指定
4月	「不燃物ごみ推奨袋」利用スタート
4月	資源ごみ回収活動報奨金 1キロ3円から5円にアップ
4月	ねたきり老人等理容サービス開始
4月	生涯学習まちづくりプラン策定
4月	グループガイド「友達づくりの大事典」発行
4月	ともに生きる福祉社会を目指して一障害者基本計画策定
4月	地域医療体制を充実「市立府中診療所」開設
4月	市議会議員定数減少条例により定員を23人から21人に

年 次	主 要 事 項
平成 10 年 (1998)	5 月 ふれあい&すこやかフィールド整備事業起工式・特別養護老人ホーム等着工
5 月	宮津祭に 41 年ぶり芸屋台復活
5 月	みやづ農業学校始まるー農業の喜びを体験
5 月	市民実践者表彰ー市民憲章「こころ」実践者を初めて表彰
6 月	集団回収資源ごみの運搬・処理を業者委託。処理手数料を市が負担
6 月	宮津市議会委員ー一般選挙執行、定数を 23 人から 21 人に、投票時間 2 時間延長
7 月	北部在宅介護支援センター、デイサービスセンター「せんごく」内に開所
7 月	北近畿タンゴ鉄道宮福線開業 10 周年。記念市民号運行
7 月	天橋立ミュージックフェスティバル開催
8 月	宮津市計画事業中町通地区土地区画整理事業ー仮換地指定、建て替え工事が着工
8 月	天橋立アート&クラフトフェア開催
9 月	台風 7 号大手川沿い中心に甚大な被害をもたらす、緊急被害対策措置を行う
9 月	「蕪村まつり」を開催ー天橋立観光協会宮津支部
9 月	第 44 回全日本総合男子ソフトボール選手権大会開催。地元チームも出場
10 月	痴ほう性老人グループデイホーム“ハウゼ天橋”開所
10 月	宮津市都市計画用途地域など適用スタート
10 月	緊急融資・就職相談など不況雇用対策を実施
10 月	緊急雇用相談事業「就職相談窓口」を開設
10 月	介護保険に向けてー介護認定審査会を設置
10 月	生涯学習フェスティバル『フェスタ・YOU・友・遊 in MIYAZU』開催
11 月	「生涯学習出張講座」開講
11 月	丹後 1 市 10 町「雇用機会増大促進地域」に指定
11 月	自衛艦輸送艦「のと」養老漁協定置網に乗り上げる
11 月	歴史の館(仮称)起工式
11 月	近畿高等学校駅伝競争大会開催。晩秋の宮津路を駆け抜ける
平成 11 年 (1999)	1 月 天橋立の松 92 本、大雪で倒れる
1 月	市民課等窓口にローカウンター設置
2 月	由良デイサービスセンター(仮称)起工式
3 月	宮津市地域振興券交付開始
3 月	地球温暖化防止フォーラム
3 月	手すき和紙づくり体験教室
3 月	東部不燃物処理場竣工式

年次	主要事項
平成 11 年 3 月	老人大学学習発表会
(1999) 3 月	デルレイビーチ市寄贈ガーデンテーブル除幕
3 月	高速道路網整備進む-京都縦貫自動車道整備進展、鳥取豊岡宮津自動車道 宮津網野線事業化へ
4 月	東部不燃物処理場供用開始
4 月	島崎公園全面オープン
6 月	市制 45 周年記念事業-市制 45 周年記念式典開催、宮津市ホームページ開設、 広報誌みやづ縮刷版発行、各校・園で市の花記念植樹
6 月	環境づくり進む-宮津市エコ・ネットワーク設立、宮津市環境フォーラム開 催、800 人参加
6 月	NHK が傘松公園にロボットカメラを設置
7 月	「天橋立」切手 100 万枚発行
7 月	世屋高原家族旅行村オートキャンプ場開業
9 月	開港 100 周年記念、咸臨丸宮津湾クルーズに 800 人
10 月	由良デイサービスセンター「はまなす苑」運営開始
10 月	不燃系ごみ袋が推奨袋から指定袋に
11 月	老人福祉複合施設「青嵐荘」運営開始
11 月	宮津市林業振興センター完成
12 月	老人保健施設「リハ・ヴィラなぎさ苑」起工
12 月	神々の遊湯「天橋立温泉」開業
平成 12 年 1 月	「宮津訪問看護ステーション」業務開始
(2000) 1 月	全国で 2 番に星空観察に適したまちとなる
2 月	「みやづ歴史の館」外観工事完了
2 月	市街地で 16 年ぶり 74 センチの積雪、上世屋で 108 センチを記録
3 月	3 つめの歩ら輪ぐルート「ぶらり府中ロマンのみち」整備
3 月	世屋小学校休校、日置小学校へ統合
4 月	全国健称マラソン大会 発祥の地天橋立で開催
4 月	文珠ユーティリティーパーク内、天橋立駐車場オープン
4 月	三上家住宅開館
5 月	第 2 宮津共同作業所「すまいる」開所
5 月	情報公開懇話会設置
7 月	温暖化防止計画を策定
7 月	徳田市長当選、5 期目スタート
7 月	ネルソン市へ市内中・高校生 19 人訪問、ホームステイや学校を体験
8 月	丹後の宮津ピンと祭り初めて開催

年次	主要事項
平成12年 (2000)	<p>8月 養老・伊根バイパス第1工区開通</p> <p>9月 みやづ歴史の館文化ホール・中央公民館オープン</p> <p>9月 子ども放送局をみやづ歴史の館内に開設</p> <p>9月 大手川整備計画基本方針決定</p> <p>10月 天皇皇后両陛下が全国豊かな海づくり大会にご臨席、宮津市をご訪問、宿泊される</p> <p>10月 丹後きものまつり、天橋立で初めて開催</p> <p>10月 天橋立駅が近畿の駅百選に</p> <p>10月 ブナ林からの恵みシンポジウム開催</p> <p>11月 宮津市の交通死亡事故ゼロ記録1年を達成</p>
平成13年 (2001)	<p>1月 宮津温泉24年ぶりに復活－宮津市街地にピント湯がオープン</p> <p>2月 大手川河川整備計画案、意見まとまる</p> <p>2月 「宮津家電リサイクル組合」発足。不法投棄パトロールも</p> <p>3月 20の公共施設予約をネットで受付。施設予約システム導入</p> <p>3月 第5次宮津市総合計画策定</p> <p>3月 市民体育館裏に多目的コートオープン</p> <p>3月 宮津・与謝初の施設。介護老人保健施設「リハ・ヴィラなぎさ苑」オープン</p> <p>3月 平成17年度を目標とする「財政健全化指数」を策定</p> <p>3月 市立幼・小・中学校教育情報ホームページを開設</p> <p>4月 西宮津公園屋根付ゲートボール場オープン</p> <p>4月 市情報公開制度始まる。情報公開コーナーを開設</p> <p>4月 「三上家文書」府指定有形文化財に指定</p> <p>4月 NZ ネルソン市姉妹都市提携25周年記念モニュメントの寄贈を受ける</p> <p>4月 学校評議員制度を発足</p> <p>6月 乳幼児医療費の助成制度を小学校に入学するまでに拡大</p> <p>7月 養老漁協、定置網漁の体験クルーズ始める</p> <p>8月 暁星高校平成15年度(2003年度)をめどに関西電力火力発電所跡地(獅子崎)に移転決定</p> <p>9月 獅子崎地区の住宅団地「つつじが丘団地」に決定</p> <p>9月 宮津の美しさを伸ばそうと「美しさ探検隊」発足</p> <p>10月 宮津与謝障害児通園施設「すずらん」オープン</p> <p>10月 水道使用料金を改定。平均9.17パーセント引き上げ</p> <p>10月 天橋立ワイン醸造工場完成。新たな観光スポットとして期待</p> <p>10月 天橋立公園内の松、松枯れ被害。原因調査、対策へ</p>

年 次	主 要 事 項
平成 13 年 11 月 (2001)	市民に開かれた学校づくりを目指して「教育ギャラリー」オープン
平成 14 年 1 月 (2002) 1 月	天橋立「廻旋橋」23 年ぶりに改修 渡船が運行 天橋立の松並木に薬剤散布用のスプリンクラーを設置。4,300 本に害虫駆除剤を注入。周辺山林の被害木の伐倒・駆除も
2 月	府内 18 漁協の合併を目指す「京都府漁協合併促進本部」発足
3 月	「丹後のブナ林」京都府自然環境保全地域に指定。ブナ林からの恵みシンポジウムも開催
3 月	京都暁星高校の新校舎、獅子崎に起工。H15 春開校予定
4 月	宮津市海洋釣り場を再開
4 月	丹後海陸交通、加悦フェローライン 運賃を平均 5.4 パーセント値下げ
4 月	子育て支援センター開所
4 月	智恵の輪提案で大きな広告掲出板を設置
4 月	男女共同参画のまちづくりを進める「新ウインドプラン 21」を策定
4 月	パーキングはままち横に「歩ら輪ぐセンター」オープン
4 月	J A 京都丹後「農業ヘルパー制度」創設
5 月	みやづ歴史の館に「歴史資料館」オープン。企画展も実施
5 月	宮津祭りで子供歌舞伎が 45 年ぶりに復活
6 月	新しい府中地区公民館を建設・起工
6 月	住民の手による地域美化活動を促進する「さわやかボランティア制度」創設
6 月	29 年ぶりに宮津のトリガイ漁中止を決定
7 月	京都府議会議員定数 3 減 宮津市・与謝郡の定数も 2 から 1 へ
7 月	ふるさと海づくり大会開催
8 月	最後のアート&クラフトフェア『天橋立美術展』開かれる
8 月	平田寿郎さん（白柏・90 歳）全日本マスターズ陸上競技選手権大会男子 100 メートルで金メダル
9 月	市営住宅「宮村上団地」完成。入居始まる
9 月	客船「飛鳥」が宮津湾に 8 年ぶりに入港
10 月	「阿蘇海を環境を考える会」の人口ゼロライト実験棟が稼働
10 月	宮津市・加悦町・岩滝町・伊根町・野田川町合併協議会発足
10 月	リサイクルセンター稼働。ごみの広域処理も始まる
10 月	宮津ひまわり基金法律事務所開設。弁護士が着任
10 月	今林家住宅 宮津市初の国登録有形文化財として登録
10 月	京都縦貫自動車道綾部宮津道路北端出入り口名称を「宮津天橋立インターチェンジ」に決定

年 次	主 要 事 項
平成 14 年 10 月 (2002)	京都縦貫自動車道綾部宮津道路建設記念イベントで小田地区の時代行道中」が 3 3 年ぶりに復活
11 月	天橋立がはじめて年賀はがきにデザインされる
11 月	宮津市最大の住宅団地「つつじが丘団地」分譲開始
11 月	地元有志らが天橋立温泉の外湯施設を建設・起工
11 月	京都北都信用金庫が福知山、東舞鶴、舞鶴、綾部の信用金庫と合併
11 月	都市計画道路新浜松原線全面供用開始
平成 15 年 1 月 (2003)	天橋立の松並木に薬剤散布用のスクリンプレーを設置
2 月	「京都府漁協合併促進本部」発足
2 月	「丹後半島 環境共生と文化振興のための国際会議」が宮津で開催
2 月	四季折々の世屋の大自然を満喫「世屋高原エコツアー」を開催
3 月	京都縦貫自動車道綾部宮津道路が全線開通 京都宮津間 30 分短縮
3 月	天橋立温泉の外湯施設「智恵の湯」オープン
3 月	府中地区公民館が完成
3 月	宮津市史編上巻 発刊
3 月	橋立の松並木を守る 二世松などを植樹
4 月	「文珠浜公園」「日置ふれあい公園」(一部) がオープン
4 月	奈具海岸道路の愛称が「安寿ロマン海道」に決定
4 月	雪舟の天橋立図 2 3 年ぶり里帰り(歴史資料館開館一周年記念特別展「雪舟天橋立図の世界展」)
4 月	宮津市児童育成計画「子どものびのびプラン」を策定
4 月	養老・日ヶ谷地区に住民だれもが利用できるスクールバスを運行
4 月	男女共同参画ガイド「ウインド」を発行
4 月	障害者サービスに支援費制度導入 障害者生活支援センター「かもめ」オープン
4 月	京都暁星高校新校舎完成 男女共学で再スタート
4 月	養老漁協の定置網体験に修学旅行の受入開始。観光漁業(海業)に新たな展開
5 月	「宮津祭」1 9 年ぶりに稚児行列復活
5 月	新型肺炎(SARS)感染者が宮津を観光
5 月	宮津市老人クラブ連合会が天橋立で組体操披露
7 月	天橋立で「知事と和い和いミーティング」が開催
7 月	マリーニピアの屋外プールがリニューアル
8 月	市民総おどり大会で宮本自治会「ジャンボ燈ろう」登場
8 月	宮津燈籠流し花火大会ではじめて市民の協賛による「市民花火」を打上げ

年次	主要事項
平成15年 (2003)	8月 第1回日本三景オープンウォータースイムレースが開催
	8月 住民基本台帳ネットワークシステム第2次サービス開始
	8月 丹後リゾート公園(仮称)が正式名称「府立丹後海と星の見える丘公園」(通称名・丹後エコパーク)に決定
	8月 地元農林水産物を地元で消費 「みやづ食と農のネットワーク交流会」がスタート
	9月 智恵の輪提案が実現 社会科副読本「わたしたちのまち 宮津市」発刊
	9月 宮津祭の獅子舞を統一
	9月 市内小中学校敷地内 全面禁煙へ
	10月 宮津高校創立100周年
	10月 市制50周年検討会議が市長に記念事業を提言
	10月 三上家住宅が国の重要文化財に
	10月 宮津城跡発掘調査で、重臣の屋敷跡を発見
	10月 田原地区が「豊かなむらづくり全国表彰」で農林水産大臣賞を受賞
	平成16年 (2004)
1月 京都交通(株)が会社更生法の申請 天橋立～京都間の快速バスは10月に休止	
1月 滝上ダムを改修し、貯水量を増量	
2月 四都市体育大会(冬季大会) 宮津市25年ぶりの総合優勝	
2月 市立前尾記念文庫所蔵 元勲・近代諸家書簡集成を発刊	
2月 丹波町で発生した鳥インフルエンザ 宮津市でも感染防止の消毒など防疫対策	
3月 吉津小学校体育館が完成	
3月 歩きやすい観光地を目指して 市街地に「通り名板」を設置	
4月 市民のやすらぎと憩いの場「大黒山公園」がオープン	
4月 5万1千球のチューリップ「オッパマ花まつり」が開催	
4月 養老地区に、住民の手づくりで「古城の森公園」がオープン	
4月 宮津エネルギー研究所の発電設備が長期計画停止	
4月 特別養護老人ホーム「第二天橋園」(仮称)が起工	
4月 市内の4漁協が合併「宮津市漁業協同組合」が誕生	
5月 クルーズ船「にっぽん丸」が宮津港に寄港	
5月 京都縦貫自動車道綾部宮津道路全線開通1周年を記念し、「宮津天橋立にぎわい物産展」を開催	
5月 市民と行政のまちづくりを目指し「市民会議」開催	
5月 宮津市史通史編下巻 発刊	

年 次	主 要 事 項
平成 16 年 (2004)	<p>6 月 宮津市制施行 50 周年「宮津ええとこふるさとまつり」など市民手づくりの多彩な記念イベントが開催</p> <p>6 月 移動図書館車「はまなす文庫」が保育所・幼稚園・小学校への訪問を始める</p> <p>6 月 上宮津 21 夢会議が辛皮で『「ホテルとカジカ」夢酔い祭り』を開催</p> <p>7 月 宮津・与謝 1 市 4 町の合併協議会が休会</p> <p>7 月 「金引の滝」散策路の手すりをリニューアル</p> <p>7 月 土砂災害危険箇所などを示す「防災マップ（改訂版）」を作成、全戸配布</p> <p>7 月 日吉神社（岩ヶ鼻）の市指定文化財の神像 2 体が行方不明</p> <p>8 月 宮津市消防団「府中分団第 2 部」が京都府大会（ポンプ車の部）で優勝</p> <p>8 月 徳田市政 6 期目スタート</p> <p>8 月 海上自衛隊の掃海艇「ひめしま」が一般公開</p> <p>9 月 「つつじが丘団地」の 75 区画を市が買い上げ（予算可決）</p> <p>9 月 黒崎沖に油が浮遊 漁業者、関係機関などが一体となり除去作業</p> <p>10 月 台風 23 号襲来 宮津市にとって戦後最大の惨禍</p> <p>11 月 日本三景地球温暖化防止シンポジウムを開催</p> <p>12 月 学校給食に宮津産コシヒカリの使用始まる</p>
平成 17 年 (2005)	<p>2 月 美しさ探検隊が「新・宮津風土記」を発刊</p> <p>2 月 「松原サミット」が天橋立で開催（松原の保全に関する情報交換）</p> <p>3 月 天橋立観光協会が社団法人化（組織力と公益性強化）</p> <p>3 月 伊根町との合併協議会が休止に</p> <p>4 月 「オッパマ花まつり」が開催（規模を拡大し、11 万球のチューリップ）</p> <p>4 月 島陰地区に路線バスが運行（同地区に初の公共交通実現）</p> <p>4 月 市の発行する印刷物に有料広告を募集（「広報誌みやづ」など）</p> <p>4 月 子どものびのびプランアクションプログラムを策定</p> <p>4 月 和貴宮神社の大神輿 95 年ぶりに一新</p> <p>4 月 成相寺開山 1300 年（「聖観世音菩薩像」が 33 年ぶりにご開帳）</p> <p>4 月 特別養護老人ホーム「天橋の郷」が完成（獅子地内）</p> <p>5 月 つつじが丘団地 宮津市による宅地分譲スタート</p> <p>5 月 渋滞緩和に「パーク&ライド」を試行（車を駐車し、汽船などに乗船）</p> <p>5 月 宮津市史（全 9 巻）が完成（編さん開始から 15 年）</p> <p>5 月 「天橋立名松リバーズ展示・創作館」がオープン（倒松を利用した作品展示や創作活動の拠点に）</p> <p>5 月 「宮津市児童虐待防止ネットワーク会議」を設立（児童虐待の未然防止に）</p> <p>6 月 「宮津天橋立温泉卓球大会」が開催（全国から 384 人が熱戦）</p> <p>6 月 ごみの有料化を審議会に諮問（11 月に答申）</p> <p>6 月 成相寺「撞かざる鐘」400 年ぶりに復活</p>

年次	主要事項
平成17年 (2005)	6月 各地域でホタル鑑賞会を開催（田原、日ヶ谷、辛皮）
	7月 下水道使用料の改定を審議会に諮問（10月に答申）
	7月 「炎の架け橋」宮津湾側に加え、阿蘇海側にも点火
	8月 府中で「竹彩」を開催（竹などを活用し、地区内をライトアップ）
	8月 災害に備え「避難マニュアル」を作成（台風23号災害を教訓に）
	8月 府内最大の治山ダム完成（滝馬地区の安全確保に）
	8月 アスベスト（石綿）対策に市の公共施設を調査（7施設の詳細調査結果：安全全面の問題はなし）
	9月 つつじが丘団地で「学生設計コンペ（コンペティション）」を開催（モデルハウス建築に）
	9月 栗田トンネルが全面通行止めに（老朽化による補強工事のため 9-12月）
	10月 「丹後天橋立ツーデーマーチ」を4年ぶりに宮津を中心に開催
	10月 毎月1日を「KTRに乘る日」に設定
	10月 木造十一面観音立像（神宮寺所有）を市指定文化財に
	10月 てんころ舟競争 22年で幕 決定
	10月 災害に強いまちづくりへ「市民宣言」（「台風23号から1年のつどい」で）
	11月 「天橋立冬花火」が開催（阿蘇海で初冬の夜空に3000発の大輪）
平成18年 (2006)	1月 久々に大雪（除雪費の緊急助成や避難用に市営住宅を開放）
	2月 財政再建と経営改革を柱に「新しい行政改革大綱」を策定
	2月 健康と環境を軸に新たな産業振興を目指し「LOHAS研究会」が設立
	3月 宮津・伊根合併協議会を廃止
	3月 府中で丹後最古級の遺跡が出土
	3月 市内で初めての認知症高齢者向けグループホーム「天橋の家」がオープン
	3月 滝馬地区が府内初の土砂災害警戒区域に指定
	4月 日置ふれあい公園（やんちゃの森・芝生広場）がオープン
	4月 清め塩廃止運動への対応に、市ホームページへ全国から書き込み意見
	4月 市立府中・日置診療所が民営化
	5月 地元の農産物を直売「まごころ月市」がスタート
	5月 京都伝統工芸専門学校の学生が天橋立の倒木松で文殊菩薩像を作成（智恩寺に奉納）
	6月 宮津湾にアザラシ出現
	6月 安全に安心して暮らすことができる社会をつくるため、子ども・地域安全見守り隊が各地で結成
	6月 上宮津喜多地内のバイパスが開通
	6月 大手川の改修工事がスタート
	7月 徳田市長が退任 井上正嗣新市長が誕生

年次	主要事項
平成18年 (2006)	7月 市会議員選挙で18人の新議員が決定(定数3人減)
	7月 地域の特産物づくりへ「宮津産とりがいブランド化推進会議」が発足
	7月 7月の大雨で避難勧告サイレンを初めて吹鳴
	7月 日本三景の日は「7月21日」に決まる
	7月 天橋立に与謝野鉄幹・晶子夫妻の歌碑が建立
	8月 宮津市消防団 京都府消防操法大会ポンプ車の部で2大会連続優勝
	8月 自然との共生をテーマに「丹後海と星の見える丘公園」がオープン
	8月 金引の滝の災害復旧工事が完成 1年10ヵ月ぶりに散策可能に
	8月 大手川等洪水ハザードマップを作成
	10月 ごみ処理の有料化がスタート
	10月 下水道使用料金が値上げ
	10月 蕪村まつりで寺町をライトアップ
	10月 天橋立世界遺産登録を目指して、調整等をスタート
	10月 台風23号災害を風化させない「宮津市防災のつどい」を開催
	10月 ネルソン市との姉妹都市提携30年(市民訪問団を派遣)
	10月 天の橋立音頭が20年ぶりに復活
	11月 食文化の拠点づくりへ「農林水産フェア」を開催
	11月 市長との対話の場「出前市長室」がスタート、「地域会議」の立上げに向けて説明会開催
	11月 天橋立の倒木松を再生「名松リバーズ作品展」が開催
	11月 人口減少が加速 平成17年国勢調査で宮津市の人口2万1512人に
11月 市の下水道工事により、約600世帯で最大45時間電話が不通に	
12月 平成17年度宮津市一般会計で51年ぶりの赤字決算	
平成19年 (2007)	2月 養老地区に定置網体験漁業用の食事棟「悠遊館」がオープン
	2月 記録的な暖冬(大江山スキー場の営業日は1日のみ)
	2月 宮津美しさ探検隊が「宮津のお地蔵さまめぐりあいマップ」「史跡散策マップ駒札めぐり」を作成
	3月 宮津児童合唱団が解散(45年の歴史に幕)
	3月 天橋立が「美しい日本の歴史風土100選」「日本の地質百選」に選出
	3月 成相寺旧本堂が出土(現在の本堂の約70m上の山あい)
	3月 宮津市歴史資料館を休館
	4月 宮津女声合唱団が結成30周年(4月に記念コンサートを開催)
	4月 田井宮津ヨットハーバー 新たな船出(地元管理組合が運営)
	4月 若者向け住宅「みやづ城東タウン」の入居スタート
	5月 毎月第一土曜日は市民映画の日「みやづシネマ劇場」がスタート
	5月 「宮津産とり貝」のブランド化に向けた取組み進む(料理フェアや昼処など)

年次	主要事項
平成 19 年 (2007)	高齢者の技能・知識を活用する「高齢者マイスター制度」の登録スタート
5 月	海洋高校でトラフグの養殖がスタート
6 月	市内 2 つの社会福祉法人と「災害時の避難施設使用協定」を締結(8 月には医療法人とも締結)
6 月	地域の元気づくりイベント「由良川てんころレース」が住民主体により初開催
6 月	宮津おどり振興会が設立 50 周年(記念講演会を開催)
6 月	籠神社で古い鳥居の柱根が出土(雪舟の天橋立図に描かれている鳥居の可能性も)
6 月	デルレイビーチ市(アメリカ)との姉妹都市提携 30 年(6 月には高校生訪問団が宮津を訪問)
7 月	海を生かした地域活性化を検討する「宮津湾にぎわいづくり委員会」を設立
8 月	天橋立や世屋高原、大江山などを含む「丹後天橋立大江山国定公園」が誕生
8 月	丹後由良海水浴場にビーチスタンプを導入
8 月	文珠まちづくり協議会と京都造形芸術大学がまちづくり協定を締結
9 月	子育て支援「医療費の無料化(1 ヶ月 200 円)を小学校卒業まで拡大
9 月	天橋立を世界遺産の候補として文化庁に申請
9 月	防災マップ(改訂版)を作成
9 月	「安全で美しいまちづくり条例」を制定
9 月	子供たちの学習環境を考える「教育・保育施設再編検討委員会」を設立
9 月	市民が主体のまちづくりを応援する「宮津まちづくり基金」を創設
9 月	宮津市で「ふるさと海づくり大会」が開催
9 月	元普甲道が復活(金山から辛皮までの約 4.5km。地元の方々の整備により通行できるように)
9 月	秦皇島市(中国)との友好都市提携 20 年(9 月には中高生訪問団が宮津市に)
9 月	由良・養老・日ヶ谷地区で「インターネットの ADSL サービス」がスタート
10 月	まちなかの歴史文化を観光振興に生かす「宮津まちなか観光推進協議会」が設立
10 月	5 千個の灯ろうで寺町をライトアップ「和火」が初開催
10 月	映画「天国はまだ遠く」の撮影が宮津市内で実施(たくさんの市民の皆さんがボランティアとして協力)
11 月	平成 20 年秋の上演を目指し、天橋立「能楽・丹後物狂」実行委員会が設立
11 月	宮津高校美術部が幅 3.3m・高さ 2m の大壁画を製作
11 月	宮津市内で地上デジタル放送がスタート
12 月	財政再建初年度 概ね順調にスタート(18 年度決算で一般会計の累積赤字を解消)

年 次	主 要 事 項
平成 19 年 12 月 (2007)	海洋高校が「全国水産高等学校生徒研究発表大会」に出場(丹後とり貝の研究)
平成 20 年 1 月 (2008)	旧丹後リゾート代替地の市先行取得に係る訴訟 最高裁判所が「高裁へ差戻し」との判断
2 月	「みやづの町に桜を植える会」が島崎公園に桜を植樹
2 月	宮津市地域新エネルギービジョンを策定
3 月	新浜通りに天橋立の倒木松を使った案内板が設置
3 月	インターネットTV「丹後・宮津TV」が開局
3 月	学校等の再編について検討委員会が市長に提言(小中学校 12 校を 7 校に)
3 月	宮津市消防団が消防団最高荣誉「特別表彰まとい」を受章
3 月	城東地区周辺が土砂災害警戒区域に指定
3 月	雪景色の天橋立の愛称が「幻雪の飛龍観」「天上へのゆき橋」に決まる
3 月	田井宮津ヨットハーバーが「海の駅」に登録
3 月	宮津まちなか観光推進協議会が「まちなか観光ガイドブック」を発行
3 月	「宮津城城壁復元に取組む会」が設立
4 月	吉津保育所が民営化
4 月	美しさ探検隊が散策ガイド「天橋立花めぐり」を発行
4 月	撥雲洞トンネル(旧栗田トンネル)が国の登録文化財に
4 月	日置ふれあい公園が全面オープン
4 月	宮津市景気対策会議を立上げ
4 月	宮津市消防団に支援団員制度を導入(日ヶ谷、世屋分団が導入)
4 月	KTRに丹後の魅力を描いたデザイン列車が登場
4 月	天橋立観光協会と神戸夙川学院大がパートナーシップ協定を締結
4 月	宮津野田川道路第 12 トンネル(3.6km)が貫通
5 月	宮津祭で 5 年ぶりに「子ども歌舞伎(宮本自治会)」が演じられる
5 月	宮津高校建築科の生徒が落書きの消去活動
5 月	宮津混声合唱団 結成 50 周年(5月に記念演奏会を開催)
5 月	丹後とり貝が水産物第 1 号として京ブランドに認定
5 月	市民グループ(ジャングル)が宮津節をアレンジした「ぴんっと みやづ節」を制作
6 月	豊かな自然、文化を生かした地域活性化「エコツーリズム」の推進に向けた取組みがスタート
6 月	住民、企業、行政等が協同の森づくり「宮津版モデルフォレスト運動」がスタート
6 月	「HAND in HAND 天橋立」に 2,280 人が参加
7 月	宮津市消防団(宮津分団第 1 部)が京都府消防操法大会ポンプ車の部で見事

年次	主要事項
平成 20 年 (2008)	<p>優勝（全国大会に出場）</p> <p>8月 「住民税の1割を宮津市に」ふるさと宮津応援寄附を呼びかけ</p> <p>8月 「宮津市民憲章推進協議会」市民が主体となった組織として再スタート</p> <p>9月 人口減少に歯止めをかけるため、市民会議「若者定住戦略会議」を設置</p> <p>9月 京都縦貫自動車道の宮津天橋立 IC に ETC が設置（綾部安国寺－京丹波わち間が開通）</p> <p>9月 「まちなか案内人の会」が発足</p> <p>9月 世界遺産登録を目指す天橋立 暫定リスト登載は見送られるも次につながる高い評価</p> <p>9月 大学や NPO と協同の地域づくり「ふるさと共援組織」が設立（世屋・日ヶ谷地区）</p> <p>10月 オリジナルフレーム切手「日本三景天橋立」が発売</p> <p>11月 宮津市が舞台の映画「天国はまだ遠く」全国ロードショーが始まる</p> <p>11月 天橋立周辺地域景観計画を施行</p> <p>11月 府中地区に「のびのび放課後クラブ」を開設</p> <p>11月 滝上公園グラウンドがリニューアル</p> <p>11月 由良診療所を開設</p> <p>年間 元気な宮津づくりを応援する「宮津まちづくり基金」に4千万円を超える寄附</p> <p>年間 豊かな水産資源を生かした食の魅力づくりが進む（サワラの燻製、干物、ブイヤベースなど）</p>
平成 21 年 (2009)	<p>1月 栗田・世屋のバス路線を再編（新規路線開設、200円均一運賃制導入など）</p> <p>1月 商工会議所が「サワラフレーク」を開発（漁獲量日本一のサワラを活用した産品）</p> <p>1月 若者定住戦略会議が市長に23項目の施策を提言</p> <p>2月 消防団協力事業所表示制度を創設</p> <p>2月 桜の料理コンテストが開催（金賞はさくらのロールケーキ）</p> <p>2月 養老漁業(株)が地元水産物を活用した5種類の加工品を完成</p> <p>3月 宮津市の小中学校再編計画を策定（12校→8校に 7月に地域説明会開催）</p> <p>3月 市民等からの寄附を原資に「宮津市まちづくり基金」1億5千万円を造成</p> <p>3月 上世屋の里山景観が京都府景観資産に登録</p> <p>3月 宮津まちなか観光推進プランが策定</p> <p>3月 桜の名所復活へ 滝上公園に40本の桜を植樹</p> <p>3月 山王宮日吉神社に含紅桜の二世が植樹</p> <p>4月 籠神社神幸2500年紀（様々なイベントが開催）</p>

年次	主要事項
平成 21 年 (2009)	4月 KTR 天橋立駅構内に「丹後観光情報センター」がオープン（観光協会、旅館組合等の事務所統合）
	4月 天橋立憲章が制定
	4月 障害者の多機能事業所「宮津サンホーム」が開所
	5月 市民映画の日が月 2 回に（毎月第 3 水曜日をウィークデーシアター名作劇場）
	5月 (社)宮津青年会議所が地域の昔話を題材にした絵本「ふるさと絵巻」を作成
	5月 映画「天国はまだ遠く」DVD が発売
	5月 天橋立を守る会が緑綬褒章を受章
	5月 宮津小学校の運動会に伝統の「宮津おどり」復活
	6月 天橋立の PR キャラクター「あまぼっくり」と「かさぼう」が誕生
	7月 宮津市の人口 2 万人を切る（H21.7.1 の推計人口で 19,993 人）
	7月 養老わいわいクラブが開設
	7月 天橋立の魅力や町の歴史を紹介する「天橋立今昔館」が文珠にオープン
	7月 府立海洋高校カッター部が全国水産・海洋高校カッターレース大会で初優勝
	9月 市制施行 55 周年記念事業「NHK ふるさと自慢うた自慢」の公開録音を開催
	9月 中橋・京口橋が完成（大手川河川改修工事に伴う架け替え）
	9月 京都府北部地域で「自然公園ふれあい全国大会」を開催
	9月 丹後とり貝出荷額 過去最高の 7,300 万円（商標登録にも認定）
	10月 物語の舞台智恩寺で「能・丹後物狂」が復曲上演
	10月 地元食材を給食に「みやづの食の日」がスタート
	10月 新型インフルエンザ 子どもたちを中心に感染拡大（行事の中止や学校閉鎖相次ぐ）
10月 市内全域の光ファイバー網整備に着手	
11月 宮津城の城壁復元工事がスタート	
11月 府中バイパスが開通	
11月 宮津まちづくり研究会が「宮津バーガー」を開発（アジを使ったご当地バーガー）	
平成 22 年 (2010)	1月 京都府漁業協同組合が発足（舞鶴市、宮津市、伊根町、丹後町、網野町の 5 漁協が合併）
	2月 宮津市が平和市長会議に加盟
	2月 ふるさと宮津の理解を深めるため、「知恵問答宮津ふるさと子ども検定」を実施
	2月 地域の伝統芸能が一堂に会して「ふるさと芸能自慢大会」を開催
	2月 宮津高校美術部が 200 号の油絵「現代版天橋立図」を制作

年次	主要事項
平成 22 年	丹後産コシヒカリが 3 年連続で、食味最高評価の「特 A」
(2010)	宮津メディアセンター実行委員会が「丹後映像フェスティバル」を開催
3 月	KTR にデザイン列車「丹後ゆめ列車 II」が運行
3 月	大手川に宮津城城壁が復元、太鼓門も宮津小学校正門として移築
3 月	多世代のふれあい交流施設「宮津屋」がオープン
3 月	宮津の優れた建築技術を継承「天橋作事組」が設立
4 月	地元主体の放課後児童クラブ（由良、府中）が開設
4 月	宮津市が過疎地域自立促進特別措置法の過疎地域に指定
4 月	利便性向上のため宮津駅待合所を KTR・バス一体型にリニューアル
4 月	ドクターヘリが運行開始
4 月	市内の旅館（茶六本館、清輝樓）が国の登録文化財に
4 月	コミュニティ活動の拠点「吉津地区公民館」が改築完成
4 月	KTR 宮津線開業 20 周年
4 月	全国健称マラソン大会の第 40 回記念大会が天橋立で開催
4 月	低炭素型のまちづくりを目指して、宮津市がバイオマスタウンを宣言
4 月	水産加工販売施設「田井マリンプーズ」がオープン
4 月	丹後魚っ知館入館 500 万人を突破
5 月	世屋の自然・文化の交流拠点「藤織り伝承交流館」がオープン
6 月	大手川ふれあい広場をリニューアル
6 月	無投票で井上市長が再選（2 期目）
6 月	市議会議員選挙で、16 人の新議員が誕生
7 月	宮津市で痛ましい児童虐待事件が発生
8 月	コスプレ交流会が天橋立で開催（11 月には KTR がコスプレ列車を運行）
8 月	「大手川ダンボール舟レース」が 17 年振りに復活
8 月	宮津市消防団が京都府操法大会ポンプ車・小型ポンプの両部門で優勝
8 月	今後 10 年間のまちづくりの指針「宮津ビジョン」策定に向けて、市民会議で検討始まる
9 月	田井宮津ヨットハーバーが近畿 2 番目の「みなとオアシス」に登録
9 月	水道料金の 20% 値上げを市議会に提案
9 月	宮津野田川道路の新 IC 名称が「与謝天橋立」に決まる
10 月	医療費の無料化（月額負担額 200 円）制度を中学生まで拡大
10 月	宮津市エコツーリズム推進協議会が環境省エコツーリズム大賞の優秀賞を受賞
10 月	住民手作りで、上宮津小学校にヒノキの門扉が整備
11 月	し尿汲み取り料の 18% 値上げを市議会に提案

年次	主要事項
平成 23 年	記録的な大雪 上世屋では 296 cm の積雪を記録
(2011)	まちなか観光施設「キセンバ港館」がオープン
	1月 由良地区に海水を使った足湯施設「安寿足湯サロン」がオープン
	1月 宮津高校建築科が「わがまちビジネスアイデア・コンテスト全国大会で最優秀賞を受賞
	2月 地域防災の拠点「吉津安心ステーション」が設立
	2月 国の ICT 利活用事業で、宮津市が虚偽報告
	3月 高齢者の足を確保 日ヶ谷地区で地元住民による送迎サービスがスタート
	3月 鳥取豊岡宮津自動車道・宮津与謝道路 (6.4 km) が開通
	3月 大手川改修工事が完了
	3月 未曾有の大災害「東日本大震災」 被災者に対する市民の支援の輪広がる (義援金・救援物資の提供、サマーキャンプの開催など)
	3月 大手川改修に伴う魅力的な市街地づくりが国土交通省の「手づくり郷土賞」を受賞
	3月 宮津運動公園のテニスコートを人工芝に改修
	3月 KTR 宮津駅をリニューアル (鉄道とバスの連携強化など)
	3月 まちづくりの指針「みやづビジョン・財政健全化計画」を策定
	4月 宮津小学校の新しい体育館が完成
	4月 市役所内に宮津与謝消費生活センターを開設
	4月 有料老人ホーム「エリシオン天橋立」がオープン
	4月 細川ガラシャなどをテーマにした NHK 大河ドラマ誘致に向け府内 7 市町村で「推進協議会」を設立
	4月 波見谷簡易水道が完成
	5月 京都府が原発防災の重点範囲 (EPZ) を 20km に拡大 (宮津市も避難計画策定)
	5月 宮津まごころ市がリニューアルオープン (商品増・開所日増・時間延長)
	5月 メタン発酵液を使った稲作栽培の実証実験をスタート
	5月 地区連絡所で住民票などの即時発行サービスをスタート
	6月 新たな食のブランドに「阿蘇海の育成アサリ」を初出荷
	6月 地域のにぎわい拠点に「世屋高原休憩所」がオープン
	7月 総合型クラブ「天の架け橋～rainbow～」プレ運営をスタート
	8月 天橋立炎の架け橋 17 年の歴史に幕
	8月 障害のある方、子育て親子が集う場「みやづふれあい交流館」を開設
	9月 竹の総合利活用拠点施設「宮津バイオマス・エネルギー研究所」を開設
	9月 傘松公園に新しい展望スペース「スカイデッキ」が完成
	9月 人口減少に歯止めを「みやづ UI サポートセンター」を開設

年次	主要事項
平成 23 年 (2011)	<p>9 月 天橋立ツーデーマーチ 20 年の歴史に幕(来年以降は形を変えて再出発)</p> <p>10 月 中国からの観光誘客を促進 天橋立観光協会と中国の旅行会社が観光誘致 共同宣言に調印</p> <p>10 月 南北朝時代の作とされる須津江西寺の「十六羅漢図(市指定文化財)」が修復</p> <p>10 月 宮津の B 級グルメ「カレー焼きそば」が大人気(10 月にはスタンプラリーも)</p> <p>11 月 国民文化祭「民謡・民舞の祭典」を宮津会館で開催</p>
平成 24 年 (2012)	<p>1 月 広域ごみ処理施設整備に向け宮津与謝 1 市 2 町で具体の検討をスタート</p> <p>1 月 府北部で振り込め詐欺続発 宮津市でも被害発生</p> <p>1 月 猛烈寒気で 2 年連続の大雪</p> <p>1 月 B 級グルメ「カレー焼きそば」が大好評 スタンプラリーも実施</p> <p>2 月 人と地球と地域にやさしい暖房 市内公民館 8 か所にペレットストーブを 設置</p> <p>2 月 総合型クラブ 天の架け橋～rainbow～が本格スタート</p> <p>3 月 元気な子どもの遊園地「ペップ キッズ ガーデン」をスタート</p> <p>3 月 KTR がさらに便利に 宮津駅・天橋立駅にエレベーターを設置</p> <p>3 月 伝統芸術・文化を継承する拠点「四軒町びんと館」オープン</p> <p>4 月 KTR 赤字過去最大の 8 億円 関係団体一丸で経営改善へ取組</p> <p>4 月 津波避難高台も盛り込み「防災マップ」「避難マニュアル」を改訂 各戸配布</p> <p>4 月 地元産を提供「宮津市地産地消推進店」2 2 店舗が誕生</p> <p>4 月 市立府中保育所を民営化「府中保育園」に</p> <p>4 月 国保税(12.6%)、介護保険料(26%)の値上げ</p> <p>4 月 由良地区で「安寿足湯と健康サロン」がリニューアルオープン</p> <p>4 月 議会報告会を初めて開催</p> <p>6 月 「天橋立を世界遺産にする会」が会員 1 万人運動をスタート</p> <p>6 月 文珠地区をスタート・ゴールに「TANTAN ロングライド」初めて開催</p> <p>6 月 天橋立観光協会がペットボトル飲料「天橋立 龍の水」を作製</p> <p>6 月 日置小学校畑分校を地域の交流拠点に「畑婆爺ニアセンター」が完成</p> <p>7 月 夏の電力不足に備えて 市民あげて節電の取り組み</p> <p>7 月 金引きの滝まつり 29 年の歴史に幕</p> <p>7 月 ねこのおまわりさん「伊右衛門」 防犯や交通安全 PR に活躍</p> <p>7 月 市職員と事業所がコラボ 1 室 1 品チャレンジ研究スタート</p> <p>8 月 宮津高校出身の木崎良子選手がオリンピック女子マラソンに出場</p> <p>8 月 市民総おどり大会 5 年ぶりに本町・駅前通りで開催</p> <p>8 月 メタン発酵消化液による水稻栽培ほ場実証を実施</p> <p>8 月 「細川忠興公・ガラシャ夫人 生誕 450 年記念事業実行委員会」が設立</p>

年次	主要事項
平成 24 年 (2012)	<p>8 月 京都舞鶴港から天橋立への観光誘客に向けて 韓国・浦項(ポハン)市でアピール</p> <p>8 月 脱原発と宮津エネ研再稼働の気運高まる</p> <p>9 月 栗田湾にイルカ 2 頭が長期滞在</p> <p>9 月 由良小学校 来春、栗田小学校に統合 ―由良地区で 600 人がお別れの人文 字撮影―</p> <p>10 月 横山教育長が退任 藤本教育長に</p> <p>10 月 消火栓用の筒先盗難被害 宮津市内でも発生</p> <p>10 月 9 年ぶりの再会 姉妹都市アメリカ・デルレイビーチ市へ高校生訪問団を派遣</p> <p>10 月 宮津市指定文化財 新たに 2 件を指定(金剛心院の「カゴノキ」、世屋姫神社の「オオモミジ」)</p> <p>10 月 健康づくりの運動の観点取入れ 第 21 回天橋立ツーデーウォーク開催</p> <p>10 月 国の新たな原子力防災対策指針で U P Z 30 km に拡大 宮津市は高浜原発から 30 km 県内にはほぼ全域が入る</p> <p>10 月 市民の手作りイベント「和火」1 万 2 千個のやわらかな灯りが寺町を彩る</p> <p>11 月 海洋高校生徒が栗田駅にミニ水族館「魚魚駅舎(ととすて〜しょん)」を開設</p> <p>12 月 天橋立をモチーフにしたご当地ナンバープレート 交付開始</p>
平成 25 年 (2013)	<p>1 月 郵便局 ご当地ナンバープレートで年賀状配達</p> <p>1 月 消防団 O B でつくる「消防協力隊」結成</p> <p>1 月 「天橋立を世界遺産にする会」会員 10 倍に 1 万人を目指す</p> <p>1 月 丹後観光情報センターが外国人観光案内所(カテゴリーⅡ)に認定</p> <p>2 月 自治会の皆さんと一緒に取り組む「宮津市原子力防災住民避難計画」を策定</p> <p>2 月 丹後建国 1300 年 歴史講座等記念イベントはじまる</p> <p>2 月 天橋立周辺が拠点 京都府「海の京都構想」戦略スタート</p> <p>2 月 宮福鉄道の設立 30 周年を記念 フレーム切手販売開始</p> <p>2 月 食を生かした観光振興を推進 大和学園と連携協定を締結</p> <p>2 月 「ミシュラン・グリーンガイド」日本編 天橋立の景観が「2 つ星」評価</p> <p>2 月 第 2 次学校再編計画(北部地域編)を策定 日置、養老の各小中学校は府中小、 橋立中学校に統合へ</p> <p>2 月 丹後コシヒカリ 10 回目の食味最高評価の「特 A」 西日本最多記録更新</p> <p>3 月 京丹後市が米国 X バンドレーダー配備候補地に 防衛相が宮津市長に説明</p> <p>3 月 「宮津市今福の滝〜蛇綱の里が誇る七段の名瀑〜」京都府景観資産に登録</p> <p>3 月 第 2 期宮津市地球温暖化防止計画「みやづ環(わ)の地域づくり行動計画」を 策定</p>

年次	主 要 事 項
平成 25 年 (2013)	<p>4 月 由良小 140 年の歴史に幕 栗田小に統合 新生栗田小 120 人でスタート</p> <p>4 月 医療体制をを充実強化 与謝野海病院が「京都府立医科大学附属北部医療センター」に</p> <p>4 月 KTR 観光型車両「丹後あかまつ号」「丹後あおまつ号」が運行 好調に推移</p> <p>4 月 被災地の復興を支援 松島町に市職員を派遣</p> <p>4 月 広域ごみ処理施設整備に向け宮津与謝 1 市 2 町で「宮津与謝環境組合」を設立</p> <p>4 月 海からの交通で発展した宮津を伝える「北前船まちづくり委員会」が設立</p> <p>5 月 宮津祭 宮本自治会が 5 年ぶりの子ども歌舞伎</p> <p>7 月 水道給水開始 100 周年 記念事業開催</p> <p>7 月 落語で元気に 京都府住みます芸人 月亭太遊さん 宮津市に 1 か月滞在</p> <p>8 月 関西テレビ 55 周年記念ドラマ宮津市で撮影 500 人のエキストラ等市民も協力</p> <p>8 月 福知山市花火大会で爆発事故 宮津燈籠流し花火大会では露天が半減</p> <p>8 月 猛暑 最高気温 37.2 度を記録</p> <p>8 月 環境市民会議「みやづ環(わ)の地域づくり推進ネットワーク」が発足</p> <p>9 月 往年のプロ野球選手のプレーに歓声「ドリーム・ベースボール in 宮津」開催</p> <p>9 月 「特別警報」発令 台風、大雨が多数発生</p> <p>9 月 KTR 栗田駅に 手作りおやつのお店「幸せプリン」オープン</p> <p>9 月 宮津産九条ねぎ「京のブランド産品」に認定</p> <p>10 月 水道普及率ほぼ 100%に 関ヶ淵・竹ノ本簡易給水施設が完成</p> <p>10 月 青嵐荘に委託 北部地域包括支援センターを開設</p> <p>10 月 運賃上限 200 円バス運行開始 丹後半島全域に</p> <p>10 月 細川忠興公・ガラシャ夫人キャラクターデザイン決定</p> <p>10 月 北部 3 市で 10 月の最高気温記録 宮津市では 32.1 度を記録</p> <p>10 月 日置中学校 来春橋立中学校に統合 一日置地区で 450 人がお別れの人文字撮影</p> <p>10 月 宮津市のゆるキャラ なみちゃん復活</p> <p>11 月 大手川ふれあい広場に細川ガラシャ夫人ブロンズ像が建立</p> <p>11 月 「宮津天橋立の文化的景観」国の重要文化的景観へ選定を答申</p> <p>11 月 KTR 岩滝口駅 ほっとさろん 5 周年を祝う</p> <p>11 月 宮津市役所ゴール 丹後大学駅伝開催</p> <p>11 月 丹後建国 1300 年記念 「丹後王国物語」発刊</p>
平成 26 年 (2014)	<p>1 月 由良の安寿足湯で「ゆら・リング・カフェ」オープン</p> <p>2 月 宮津市消防団 京都府記念表彰「知事のぼり」を受賞</p>

年次	主要事項
平成 26 年	560 年の歴史「大谷寺の智海板碑」宮津市指定文化財に
(2014)	丹後産コシヒカリが 3 年連続 11 回目の最高評価「特 A」ランクを獲得
2 月	丹後名産の「アカモク」の養殖に成功 初収穫
2 月	宮津高校建築科が「SDY ボランティア奨励賞」受賞
2 月	第三セクター「(株)まちづくり機構」が解散
3 月	プロバスケットリーグ「bj リーグ」公式戦を宮津市民体育館で開催
3 月	「天橋立世界遺産シンポジウム」「まちなか観光シンポジウム」を開催
3 月	阿蘇海付近で水揚げされた天然カキ 20 年ぶり出荷
3 月	道の駅と商業施設を整備する「宮津マルシェ」事業計画の軌道修正
3 月	京都産業大学と連携協力包括協定を締結
4 月	日置中学校 67 年の歴史に幕を閉じ橋立中学校と統合
4 月	地域のルールで美しい街並みを 「宮津市景観条例」と「宮津・天橋立景観計画」がスタート
4 月	文珠「ちえのわ館」で海の京都・府北部の日本酒を PR する店を開設
4 月	地域全体で高齢者を見守る環境づくり「高齢者等見守りネットワーク」を開始
4 月	籠神社敷地内に観光案内所がオープン
5 月	KTR 観光用レストラン列車「丹後くろまつ号」運行開始
5 月	特別養護老人ホーム夕風の里で「夕風ほっこりカフェ」がオープン
5 月	吉津小学校校舎耐震補強等の工事が完成
5 月	宮津祭に 146 年ぶりに「修験」が復活
5 月	立命館大学と連携協力包括協定を締結
6 月	宮津市制施行 60 周年記念式典を開催
6 月	上宮津地区のオレンジカフェ「囲炉裏茶や」がオープン
6 月	姉妹都市・米国デルレイビーチ市の高校生訪問団が来訪
7 月	「海の京都」府北部 7 市町を「観光圏」に認定
7 月	府北部 5 市 2 町で海の祭典「海フェスタ京都」を開催（～8/3 まで）
7 月	「第 15 回北前船寄港地フォーラム in 宮津・京都」を宮津会館で開催
7 月	日本三景市町で災害時に支援し合う「災害相互支援協定」を締結
7 月	秋篠宮ご夫妻が宮津市ほか府北部をご視察
7 月	井上市長 3 期目スタート
8 月	天橋立と伊根を結ぶ「伊根航路」新観光船「KAMOME6」で 31 年ぶりに就航
8 月	文珠地区の住民協定を「界限景観まちづくり協定」として初認定
8 月	宮津市消防団が京都府消防操法大会「ポンプ車の部」で優勝
8 月	海洋高校が第 16 回全国水産・海洋高等学校カッターレース大会で 2 年ぶり 3 度目の優勝

年次	主 要 事 項
9月	「ふるさと納税1千万円以上で宅地提供」が中止に
9月	「パーキングはままち」が市営駐車場に
9月	松田副市長が2期8年で退任 副市長は当面空席に
10月	宮津市に未曾有の被害をもたらした台風23号から10年 防災イベント開催
10月	名誉市民・大阪ガス元社長の大西正文氏死去
10月	宮津市制施行60周年記念国際交流事業で姉妹友好都市の市長らを招致
11月	宮津・栗田の両幼稚園で3歳児学級を新設し3年制に 11月から来年度の 入園募集
11月	京都府が天橋立などの観光地を舞台にした短編映画を製作 府ホームページで配信
11月	文珠地区が府中地区に続き国の重要文化的景観「宮津天橋立の文化的景観」 に追加選定の答申
平成27年 (2015)	1月 高浜原発立地自治体に準じた安全協定の締結を関電に要請
	1月 宮津産オリーブオイル第1号 特産品めざし試作品完成
	1月 宮津天橋立-舞鶴大江通行止め 山の斜面の崩落
	1月 地域再生計画「第1号認定」 安倍内閣総理大臣から認定書の授与
	1月 文珠地区が天橋立、府中地区に続き国の「重要文化的景観」に選定される
	2月 高浜発電所にかかる安全確認にむけて 京都府と宮津市は安全確保等に関 する確認書を締結（府と関電は安全協定を締結）
	2月 丹後コシヒカリ 12回目の食味最高評価の「特A」 西日本最多記録を更新
	3月 宮津市と与謝野町の子供虐待防止の家族会「松のみどり会」結成20周年で記 念式典を開催
	3月 京都伝統工芸大学が天橋立の倒木松で制作 木像ガラシャ像が完成
	3月 天橋立ビューランド 25年ぶりに新遊具メリーゴーランドを購入
	3月 地域の歴史・文化を伝える 由良北前船資料館が開館
	3月 金剛心院の木像地藏菩薩立像が京都府文化財に指定される
	3月 由良小学校跡地に特別養護老人ホーム「安寿の里」が完成
	3月 141年の歴史に幕 上宮津小学校が閉校 記念行事に300人が参加
	3月 宮津市障害者計画・第4期障害福祉計画を策定（計画期間：平成27～29年度）
	3月 第6期宮津市介護保険事業計画を策定（計画期間：平成27～29年度）
	3月 宮津市子ども・子育て支援事業計画を策定（計画期間：平成27～31年度）
	4月 1人前の漁師にします！「海の民学舎」開設 1期研究生10人が受講
	4月 第三セクター「北近畿タンゴ鉄道」 「上下分離方式」の新体制へ ウィラートレインズに引き継がれ、京都丹後鉄道として再出発
	4月 宮津・栗田幼稚園で3歳児教育をはじめる

年次	主要事項
4月	閉じこもりや認知症の予防に 高齢者交流「カフェ」栗田地区に開設
4月	丹後海陸交通 天橋立と伊根町の舟屋群を結ぶ観光船「伊根航路」を再開
4月	阿蘇海環境づくり協議会議が2030年までの展望「阿蘇海流域将来ビジョン」を策定
4月	丹後のハッピーに貢献する実行委員会が獅子地区にラウンドゴルフ場「友遊」を整備
5月	丹後観光の玄関口として浜町地区に「観光交流センター」を開設
5月	丹鉄「天橋立ターミナルセンター」をリニューアル
5月	市内全域でまち・ひと・しごと地域創生懇談会を開催 10会場で276人が参加
5月	京都丹後鉄道のPRイベント「大丹鉄まつり」に1万2千人
6月	図書館のあり方を 「宮津市の図書館を考える会」で検討始まる
6月	市内初 小規模多機能型居宅介護事業所「はごろも苑 みやづの家」を開設
6月	豊作・豊漁願い巡礼船 大島さなぼり神事 5年ぶりに開催
6月	賑わいづくりの拠点 観光交流センターとまごころ市 名称「海の京都 宮津」に決まる
7月	駐車場、トイレ、観光案内所 「観光交流センター」全面オープン
7月	海洋高生が旧上宮津小学校プールでホンモロコ養殖を開始
7月	着工から35年 観光・産業の大動脈に 京都縦貫自動車道全線開通
7月	海の京都博 開幕 天橋立のライトアップなど魅力を発信
8月	ふるさと海づくり大会 宮津で開催
8月	京都府とインドネシア ジョグジャカルタ共和国友好30周年記念 宮津で王宮舞踊公演
9月	姉妹都市デルレービーチ市(アメリカ)の提携に寄与 森上助次さんの生涯が本に
10月	路線バスダイヤ改正 浜町「海の京都 宮津」エリアにバスターミナルを新設
10月	好調 宮津与謝エリア上限200円バス 社会実験を今後2年間継続
10月	天橋立「炎の架け橋」4年ぶり ふゆ花火と同時開催
10月	豪華客船「にっぽん丸」 宮津湾に初入港
10月	全国うまいもん甲子園 海洋高校「宮津ブイヤベースラーメン」が準優勝
10月	新たな特産品を目指して 由良オーリーブ祭に400人
10月	宮津市まち・ひと・しごと創生人口ビジョンと総合戦略を策定
10月	京都府北部福祉人材養成システム 宮津総合実習センターの整備概要決定
10月	姉妹都市アメリカ・デルレービーチ市へ高校生訪問を派遣
11月	府中保育園が平成28年4月から認定こども園へ移行。入所申し込みを開始
11月	「海の京都 グルメ合戦浜町の乱」に5千人 初代優勝は宮津商工会議所青年部へしこチャーハン

年次	主要事項
11月	「海の京都 宮津」が道の駅に登録される
11月	高浜発電所にかかる市民説明会を開催
11月	成相寺 紅葉 初のライトアップ
11月	栗田・養老中学校の野球部が合同チームを結成。丹後ブロック中学校新人トーナメント大会で優勝
11月	丹鉄「タンゴ・ディスカバリー」をリニューアル 水戸岡列車「丹後の海」製作
11月	一丸となって観光振興を 宮津市観光推進会議を設立

